

昭和39年度

事業成績書

水産庁北海道さけますふ化場

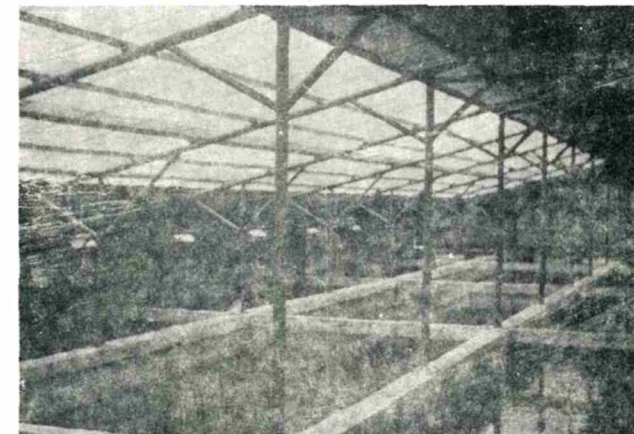
北見事業場常呂孵化室



新設孵化室

収容能力 660万粒

釧路事業場屋内養魚地（新設）



◎ 屋根 プラスチック製（青色）

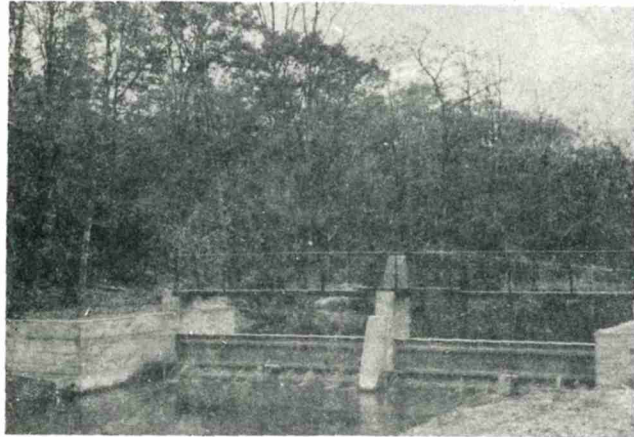
◎ 面積 100坪

◎ 39年度増設孵化施設2,000万粒分

◎ 既設分2,000万粒分と合せて同場の収容能力は4,000万粒となった。

刊 行 の こ と ば

幕別事業場転倒式ゲート（新設）



- ◎ 同場孵化用水取水河川の附近は畑地のため、稚魚放流と同時にゲートを転倒させ、水位を下げる。
- ◎ 39年度増設孵化施設は1,000万粒分
- ◎ 既設分1,500万粒と合せて同場の収容能力は2,500万粒となった。

昭和39年度の事業成績を報告します。

本年度は鮭鱒増殖事業強化拡充計画実施の3年目に当り37.38年に引続き

- ① 積極的な親魚捕獲数の増加
- ② 蓄養技術の向上による採卵数の増加
- ③ ふ化操作の改善による放流数の増加
- ④ 稚魚給餌放流尾数の増大
- ⑤ 河口通過稚魚の数量把握
- ⑥ 事業に関する研究調査の推進

を重点として実施したのであります。

先づ捕獲場については釧路（釧路川）打内（十勝川）両捕獲場を下流に移転すると共に蓄養施設を整備し捕獲、採卵の増大を計りました。一方ふ化室については幕別（十勝川）釧路（釧路川）北見（常呂川）の3ふ化室を新、増設し、ふ化放流施設の拡充を計つたのであります。

本年度本道沿岸に回帰した雌親魚は前年度を若干上廻る程度でしたが例年に比べると極めて大きな回帰量で年々、漁獲高は増加の傾向を示しております。これは当场で行なっている人工ふ化事業の効果が向上して来た現われで大変喜ばしいことであります。

本年度の回帰魚群の特徴としては圧倒的に3年魚が多かつたこととこのため河川内捕獲数の割には採卵成績が向上しなかつたものですが来年度この年次群が4年魚として大量に回帰するものと期待されます。しかし沿岸漁獲高の急上昇にもかかわらず河川浜上率は依然として横這状態を続けており、人工ふ化事業を実施し、資源を培養する上に最も大きな問題点となつています。従つて我々としては再生産に利用し得る親魚数を増加させることに専念すると共に一層有効放流数を増大させることに努力したいと考えております。

本書は本道におけるその成績を詳細に述べたものでありますが、国際的にも注目されている。この鮭鱒のふ化事業に対し、各位は本書を通じて、その全容を御諒知頂くと共に今後の事業に対して忌憚のない御意見を賜りますようお願い致します。

昭和41年3月

北海道さけ、ますふ化場長

三 原 健 夫

水産庁北海道さけ・ますふ化場事業成績書

目次

1. 鮭鱒捕獲事業実施体制	2
2. 鮭鱒ふ化放流実施体制	3
3. 鮭鱒増殖事業経費	6
4. 北海道鮭鱒ふ化場の現目	7
5. 鮭鱒増殖事業	7
(1) 鮭北洋及沿岸漁獲高	7
(2) 鮭捕獲採卵概況	10
① 支、事業場別鮭親魚捕獲採卵成績表	20
② 海区水系別鮭親魚捕獲採卵成績表	24
(3) 鮭ふ化放流概況	30
① 支、事業場別鮭ふ化放流成績表	30
② 海区水系別鮭ふ化放流成績表	34
6. 鱒増殖事業	40
(1) 捕獲採卵概況	40
① 桜鱒、樺太鱒の事業計画と実績並びに前年度との比較	41
② 支、事業場別桜鱒親魚捕獲採卵成績表	42
③ 海区水系別桜鱒親魚捕獲採卵成績表	44
④ 支、事業場別樺太鱒親魚捕獲採卵成績表	46
⑤ 海区水系別樺太鱒親魚捕獲採卵成績表	50
(2) 鱒ふ化放流成績概況	54
① 支、事業場別桜鱒ふ化放流成績表	54
② 支、事業場別樺太鱒ふ化放流成績表	56
③ 海区水系別桜鱒ふ化放流成績表	58
④ 海区水系別樺太鱒ふ化放流成績表	60
7. 虹鱒増殖事業	62
(1) 捕獲採卵	62
(2) ふ化放流	62
8. 鮭鱒親魚蓄養成績	62
① 鮭親魚蓄養成績表	64
② 桜鮭親魚蓄養成績表	70
③ 樺太鮭親魚蓄養成績表	72
9. 鮭鱒種卵の移植	74
10. 鮭稚魚飼育事業	87
① 放流成績表	89
② 給餌成績表	90
③ 各場の給餌業務概要	91
11. 調査試験	94
12. 資料の刊行	109

1 鮭 鱒 捕 獲 事 業 実 施 体 制

昭和39年度、鮭鱒捕獲採卵事業は道内65水系、76捕獲採卵場(サケ+マス30ヶ所、サケ42ヶ所、マス3ヶ所、ヒメマス1ヶ所)で実施した。

この中、北海道に委託して道が直営で捕獲を実施したものは、19ヶ所(サケ+マス9ヶ所、サケ9ヶ所、ヒメマス1ヶ所)民間団体に委託して実施したものは57ヶ所(サケ+マス20ヶ所、サケ34ヶ所、マス3ヶ所)で、その詳細は第1第2表の通りである。

(第1表) 昭和39年度鮭鱒事業実施体制
 ● 樺太マス
 ◎ 桜マス+樺太マス
 ⊕ ヒメマス

海 区	水 系	捕 獲 採 卵 場	担 当 事業場	実 施 区 分				海 区	水 系	捕 獲 採 卵 場	担 当 事業場	実 施 区 分					
				サケ		マス						サケ		マス			
				道	民間	道	民間					道	民間	道	民間		
オホーツク海区	見里別	尾里別	岩里別	岩里別	○	○	○	○	根 室 海 区	古丹別	刈無異	刈無異	刈無異	○	○	○	○
	斜里走	斜里走	斜里走	斜里走	○	○	○	○		古丹別	刈無異	刈無異	刈無異	○	○	○	○
	藻網	藻網	藻網	藻網	○	○	○	○		古丹別	刈無異	刈無異	刈無異	○	○	○	○
	常呂	常呂	常呂	常呂	○	○	○	○		古丹別	刈無異	刈無異	刈無異	○	○	○	○
	湧渚	湧渚	湧渚	湧渚	○	○	○	○		古丹別	刈無異	刈無異	刈無異	○	○	○	○
	興部	興部	興部	興部	○	○	○	○		古丹別	刈無異	刈無異	刈無異	○	○	○	○
	幌加内	幌加内	幌加内	幌加内	○	○	○	○		古丹別	刈無異	刈無異	刈無異	○	○	○	○
	雄武	雄武	雄武	雄武	○	○	○	○		古丹別	刈無異	刈無異	刈無異	○	○	○	○
	徳志別	徳志別	徳志別	徳志別	○	○	○	○		古丹別	刈無異	刈無異	刈無異	○	○	○	○
	風烈布	風烈布	風烈布	風烈布	○	○	○	○		古丹別	刈無異	刈無異	刈無異	○	○	○	○
計	15	16	11	5	9	5	10	計	19	19	9	2	16	2	12		
日 本 海 区	天塩	天塩	天塩	天塩	○	○	○	○	樺 太 東 海 区	寒辺牛	寒辺牛	寒辺牛	寒辺牛	○	○	○	○
	石狩	石狩	石狩	石狩	○	○	○	○		寒辺牛	寒辺牛	寒辺牛	寒辺牛	○	○	○	○
	〃	〃	〃	〃	○	○	○	○		寒辺牛	寒辺牛	寒辺牛	寒辺牛	○	○	○	○
	〃	〃	〃	〃	○	○	○	○		寒辺牛	寒辺牛	寒辺牛	寒辺牛	○	○	○	○
	尻朱利	尻朱利	尻朱利	尻朱利	○	○	○	○		寒辺牛	寒辺牛	寒辺牛	寒辺牛	○	○	○	○
	厚沢部	厚沢部	厚沢部	厚沢部	○	○	○	○		寒辺牛	寒辺牛	寒辺牛	寒辺牛	○	○	○	○
	計	6	10	8	5	4	3	1		計	8	13	8	2	11		1
	ルサ	ルサ	ルサ	ルサ	○	○	○	○		歴 舟	歴 舟	歴 舟	歴 舟	○	○	○	○
	サシ	サシ	サシ	サシ	○	○	○	○		歴 舟	歴 舟	歴 舟	歴 舟	○	○	○	○
	ルサ	ルサ	ルサ	ルサ	○	○	○	○		歴 舟	歴 舟	歴 舟	歴 舟	○	○	○	○

～2～

水 系	捕 獲 採 卵 場	担 当 事業場	実 施 区 分			
			さ け	ま ず	道	民間
樺太東海区	幌加	日高幌別	〇	〇	〇	〇
	元浦	元浦	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
樺太東海区	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
	〃	〃	〇	〇	〇	〇
計	17	18	6	4	14	
総計	65	76	41	18	54	10 24

注 休止採卵場 武佐 (◎マス)
 浦幌 (サケ)

(第2表) 鮭鱒捕獲事業実施体制総括表

海 区	水系数	捕 獲 採 卵 場 数	実 施 区 分				備 考
			さ け	ま ず	道委託	民間委託	
オホーツク海区	15	16	5	9	5	10	
日本	6	10	4	4	3	1	
根室	19	19	2	16	2	12	
樺太東	8	13	2	11	0	1	
樺太西	17	18	4	14	0	0	
計	65	76	18	54	10	24	

2 鮭 鱒 ふ 化 放 流 実 施 体 制

昭和39年度の人工ふ化放流事業は43ヶ所(国営40ヶ所、民営3ヶ所)で実施し、36水系に稚魚を放流した。

なお親魚の捕獲を実施している河川のうち、ふ化場のない14水系には稚魚の還元放流を行なつた。

～3～

(第3表) 昭和39年度鮭鱒ふ化放流体制

海区	放流水系名	放流実施事業場名	支場名	魚種	海区	放流水系名	放流実施事業場名	支場名	魚種
オホーツク海区	岩尾別 斜里 網走 常呂 湧路 幌 徳志 幌屯	岩尾別 斜里 網走 北見 湧路 内幌 徳志 別	北見 " " " " " 天塩 " "	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	襟裳以西海区	静内 白老 敷島 遊楽 知	静内 白老 敷島 八雲 知	千代 渡 " " "	〇 〇 〇 〇 〇
計	11	11	2	11	計	5	5	2	5
日本海区	天塩 " 石狩 " " 尻別 厚沢	天塩 中千 音又 尻別 厚沢	天塩 " 千歳 " " 渡島 "	〇 〇 〇 〇 〇 〇	民間化施設	根室 以西 " " 計	床川 茂辺地 " " 3	丹川 茂辺地 " " 3	野付漁協 川 茂辺地 " " 3
計	5	8	3	7	計	3		3	3
根室海区	羅臼 薫伊 茶 " 当西 風別	羅臼 薫伊 茶 根中 計根 別 運 賀	根室 " " " " " " "	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	(還元放流河川)	日本 根室 " " 以東 "			

(第4表) 鮭鱒ふ化放流実施体制総括表

海区	放流水系数	ふ化場数			実施区分		備考
		国営	民営	計	鮭	鱒	
オホーツク海区	11	11	0	11	11	10	鱒の項には姫鱒1を含む
日本	5	8	0	8	7	3	
根室	9	9	1	10	10	8	
襟裳以東	4	7	0	7	7	0	
襟裳以西	7	5	2	7	7	0	
計	36	40	3	43	42	21	

3. 鮭 鱒 増 殖 事 業 経 費

昭和39年度の予算額及び決算額は下記の通りである。

(第 5 表)

(組 織)	(予 算 額)	(決 算 額)
水 産 庁	円	円
(項)		
北海道 鮭 鱒 増 殖 場	2 6 2, 2 4 9, 0 0 0	2 6 1, 2 9 1, 0 7 5
(目)		
人 当 経 費	1 2 2, 4 0 5, 0 0 0	1 2 1, 5 3 5, 7 7 8
職 員 旅 費	3, 5 3 6, 0 0 0	3, 5 3 5 0 6 7
庁 費	3, 9 4 3, 0 0 0	3, 9 4 2, 5 8 4
光 熱 水 料	1, 7 5 3, 0 0 0	1, 7 3 7, 9 3 9
採 卵 増 殖 放 流 費	3 4, 4 2 8 0 0 0	3 4, 4 0 9, 0 6 3
事業用機械器具購入費	2 1, 2 4 9, 0 0 0	2 1, 2 3 4, 6 1 6
土 地 建 物 借 料	5, 9 0 0, 0 0 0	5, 8 7 2, 8 6 4
各 所 修 繕 費	9, 6 1 4, 0 0 0	9, 6 1 3, 9 4 4
親 魚 捕 獲 事 業 委 託 費	3 6, 3 6 3, 0 0 0	3 6, 3 5 7, 5 1 0
国有資産所在地市町村交付金	5 8, 0 0 0	5 1, 7 1 0
施 設 整 備 費	2 3, 0 0 0, 0 0 0	2 3, 0 0 0, 0 0 0

註 昭和39年度当初予算は297,711千円であつたが予算節減のため
262,249,000円(35,462千円の減)となつたものである。

4. 北海道 鮭 鱒 増 殖 場 の 現 員

昭和39年3月31日現在の本、支場別の人員の配置状況は第6表の通りである。

(第 6 表) 本支場別人員配置表

場 名	事務官	技 官	雇 定 夫 常 勤	合 計
本 場	1 5	2 7	3	4 6
北 見	2	1 7	3	2 2
根 室	2	2 2	6	3 0
十 勝	3	1 7	3	2 3
天 塩	3	1 1	1	1 5
千 歳	1	1 2	4	1 7
渡 島	2	8		1 0
計	2 8	1 1 4	2 0	1 6 3

5. 鮭 増 殖 事 業

(1) 鮭 北 洋 及 沿 岸 漁 獲 高

本道沿岸の鮭漁獲高は昭和36年度(1961年)に300万尾台の実績を挙げて以来現在まで
除々にその漁獲高は上昇し極めて安定した状況を示している。

一方鱒漁業は奇数年に好漁を示し、その傾向は現在も持続されている。

最近5ヶ年間の海区別鮭漁獲高は第7表の通りである。

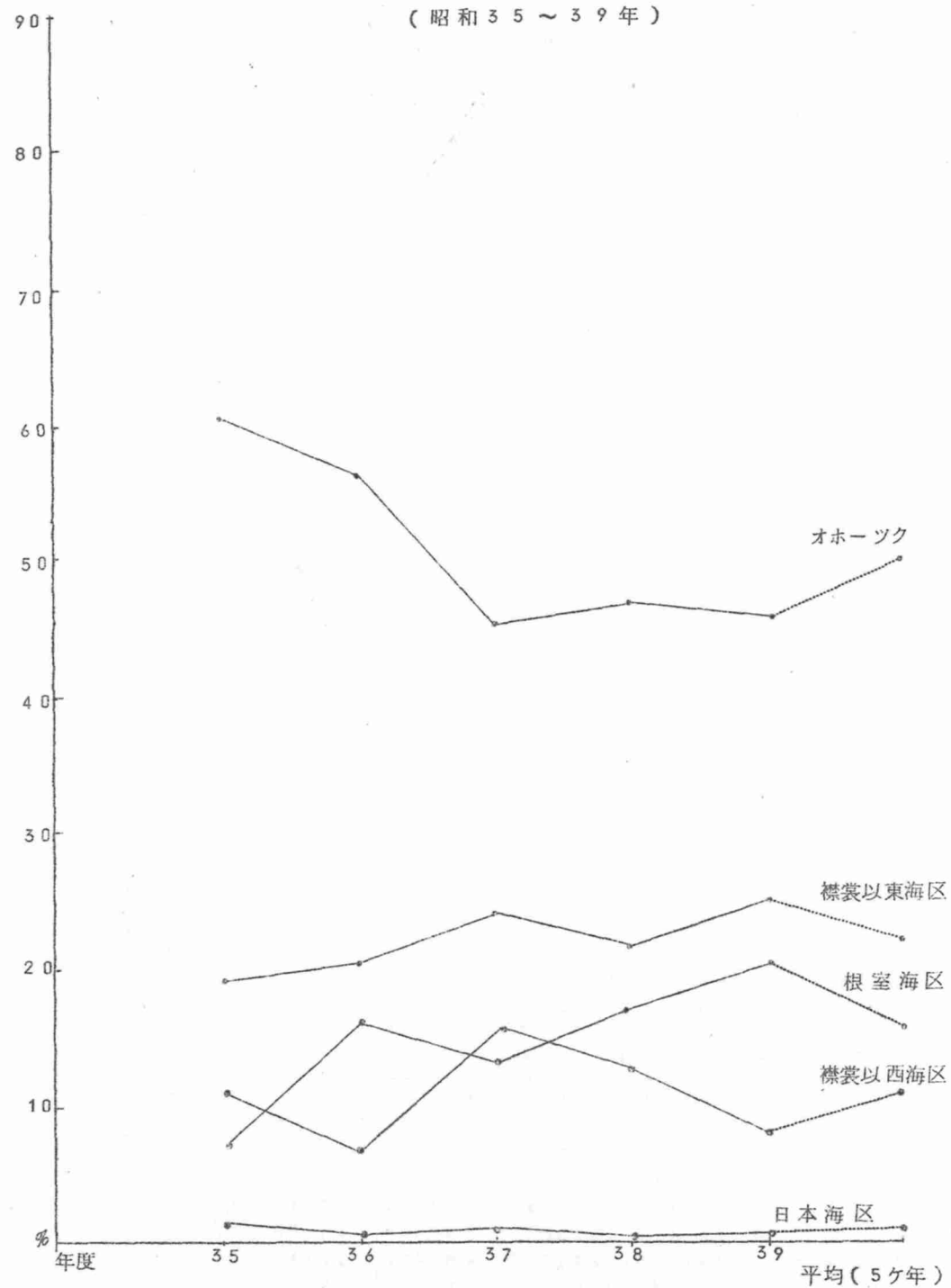
(第 7 表) 北太平洋における白鮭漁獲高 (単位: 屯) (大水資料による)

	3 5 年	3 6 年	3 7 年	3 8 年	3 9 年
母 船 式	20,584	13,013	13,547	12,137	17,896
4 8 度以南流	5,395	4,455	3,835	1,388	2,331
(規制区域内計)	(25,979)	(17,468)	(17,382)	(13,525)	(20,227)
4 8 度以南流	13,675	14,093	10,468	12,613	12,466
延 縄	3,679	2,808	2,876	1,606	7,290
沿 岸	5,660	10,137	11,871	14,415	4,870
(規制区域外計)	(23,014)	(27,038)	(25,215)	(43,634)	(24,626)
総 計	48,993	44,506	42,597	57,159	44,953

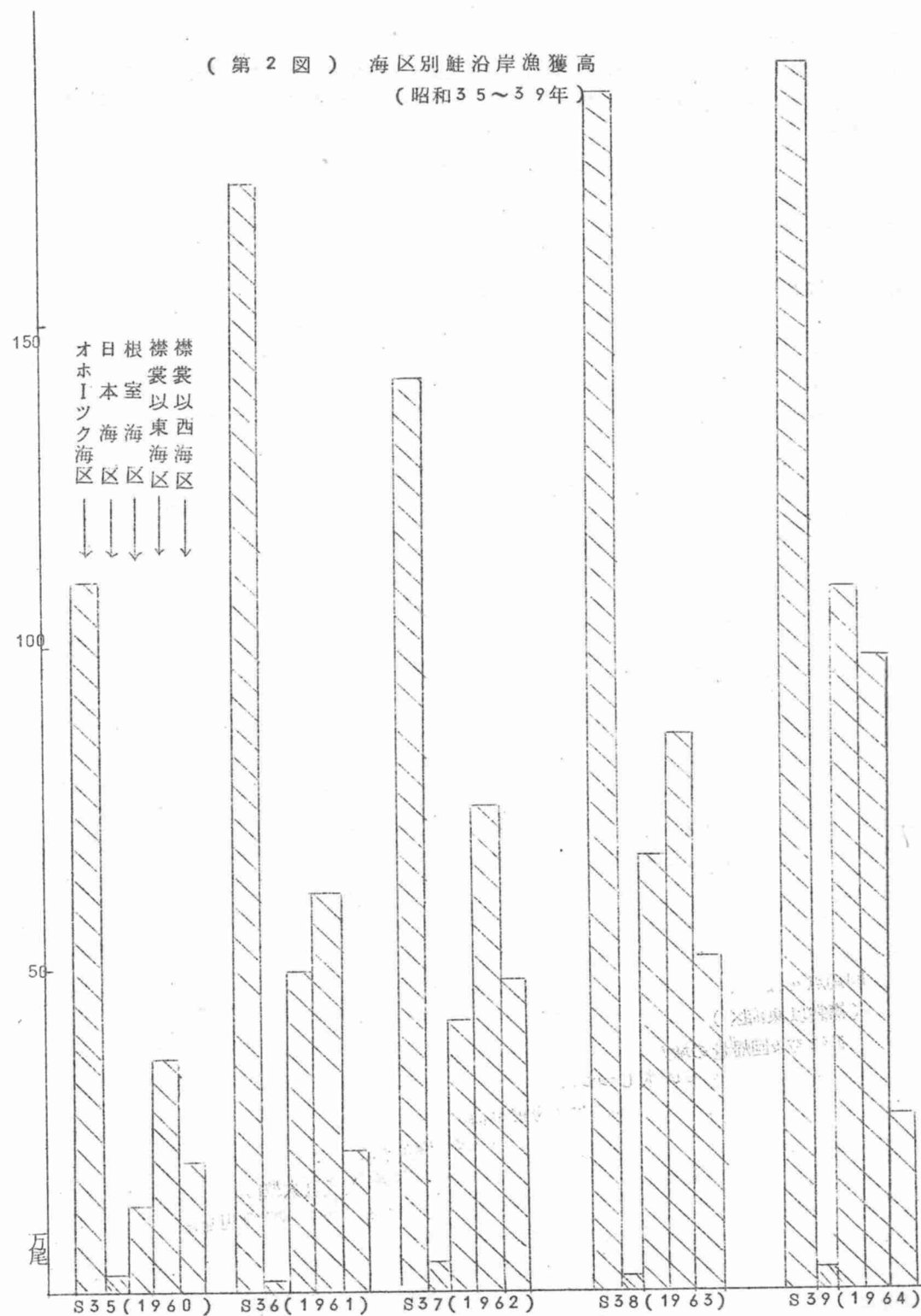
(第 8 表) 北海道沿岸海区別鮭沿岸漁獲高 (単位: 尾) (増殖場調)

海 区	年 度	昭和35年 (1960年)	昭和36年 (1961年)	昭和37年 (1962年)	昭和38年 (1963年)	昭和39年 (1964年)
オホーツク海区		1,101,020	1,725,635	1,411,666	1,856,618	1,907,324
日 本 "		24,891	16,245	44,872	25,553	33,383
根 室 "		133,928	498,636	424,111	677,804	1,097,272
襟 裳 以 東 "		355,415	625,243	754,303	866,782	983,772
" 以 西 "		199,995	217,962	484,702	526,338	283,249
計		1,815,249	3,083,721	3,119,654	3,953,095	4,305,000

(第1図) 海区域別鮭沿岸漁獲高割合(%)
(昭和35~39年)



(第2図) 海区域別鮭沿岸漁獲高
(昭和35~39年)



(2) 鮭捕獲採卵概況

本年度、本道沿岸に回帰してきた鮭親魚は前年度を上回る数字を示したが同時に河川上状況も襟裳以東、根室両海区が極めて良好であったため、全道の河川内捕獲数は最高ない良好な成績であった。しかし、回帰魚群の年齢組成は3年魚が例年に比して多かつたためが多く(本年度♀♂比は35:65、例年48:52)捕獲数の割に採卵成績は向上しなかつた。

即ち河川内捕獲数は59,247尾で計画数の126.4%採卵数は410,923,580粒で計画数の70.8%の成績を示し、前年度に比べると捕獲は64.4%採卵数は13.7%の増加であった。一方沿岸の捕獲高は342万尾で36年度以降300万尾台を4年間維持しており鮭の沿岸回帰量が極めて安定して来たことを示している。しかし、沿岸漁獲高の安定とは逆に河川上数は不安定な状態にあり、これが増殖事業の発展を妨げ、しいては鮭資源量の飛躍的増大を計れない原因となっている。その状態は第8表の通りであり、本年度特異の現象であった3年魚の多かつた傾向を本道主要10河川について前年度との比較をしてみると第9表の通りであった。

次に各海区毎の河川内捕獲数と沿岸漁獲高との関係及び夫々の特徴、問題点を挙げる

(オホーツク海区)

沿岸漁獲高の最も多い海区であるが、ここに回帰した親魚のうち河川内に上する親魚の割合は5海区中最も低く沿岸における漁獲努力の大きいことがうかがわれる。このような状態が続けていては、今後この海区における鮭資源量が極めて憂慮されるもので、各漁業者の自主的規制が強く望まれるものである。又この海区の特徴としては親魚のそ上が容易な大型河川のないことも、一つの原因とはなるが、この欠点を補う意味からも沿岸の漁獲努力を縮小することが必要であろう。更にもう一つ、河川上率を悪くしている原因としては、この海区の主要河川における河川水質の汚濁が挙げられ、今後各種産業の廃水処理には強力な監視をする必要がある。

(日本海区)

鮭の成育場所から最も遠い地域のため途中の各種障害に影響され、且つ稚魚放流数も少いことからこの海区における沿岸漁獲高は5海区中最低であるが石狩、天塩川を始め多くの大型河川を擁しているため河川上率は極めて高率を示している。しかし逆に大型河川が多いため河川上親魚を完全に捕獲出来ない欠点もあり、依然として本海区の人工的採卵量は増加していない現状にあり今後は石狩、天塩川等の水質保全に努める一方稚魚の放流量を増大することが急務である。

(根室海区)

この海区への親魚の回帰量は漸次増加の傾向にあり、回帰量と河川内捕獲数即ち、再生産に利用される親魚数との割合が極めて理想的に釣り合っている海区である。特にこの海区の稚魚放流数は5海区中最も多く且つ河川はすべて良好な水質を有しているため放流稚魚の降下がスムーズに行われ、これが回帰量の増大となつて現われているもので今後資源量の増大が期待される海区である。

しかし、この海区とて問題点がないわけではなくそ上期が遅いため生じる未利用親魚の活用及びふ化室の大型化に伴い小河川に大量の稚魚を放流すること等、今後解明されなければならない問題点をはらんでいる。

(襟裳以東海区)

近年益々回帰量の増大しつつある海区で十勝、釧路の両河川によつて、その資源が保たれている。又河川上率も急上昇の傾向にあり根室海区同様、回帰量と河川上量とが極めて理想的に釣り合っている海区でもある。稚魚放流数も逐年増加の傾向にあり、今後急テンポに資源量の増大が期待される海区であろう。しかしこの海区の今後の問題点としては大型河川におけるそ上親魚の捕獲効率を更に上昇させること、下流部蓄養施設における蓄養魚の高率利用を図ることである。

(襟裳以西海区)

この海区は日本海同様鮭の回帰経路の末端にあり、且つ稚魚放流数の僅少のことから回帰量は多くを期待出来ない現状にあるが漸次増加の傾向を示しているが河川が小さく且水量の少いことが欠点である。しかし回帰親魚の中、河川に上する親魚の率はオホーツク海区に次いで低く再生産に利用される親魚が少いためふ化設備の1/4程度の稚魚を放流しているに過ぎない。

この問題点を解消するため現段階では少くとも現有ふ化施設に見合う採卵量を得るため河川へのそ上親魚数を増加させること即ち稚魚放流数を増加させることが急務である。

(第8表) 鮭沿岸漁獲数及び河川内捕獲数とその率

註：単位 { 漁獲数 尾
河川内捕獲率 %

海 区		年 度	1959 (34年度)	1960 (35年度)
全 道 総 計	沿	岸	1,851,976	1,815,249
	河	川	353,499	305,132
	合	計	2,205,475	2,120,381
	河	川 内 捕 獲 率	16.0	14.4
オ ホ ー ツ ク	沿	岸	836,554	1,101,020
	河	川	85,742	138,170
	合	計	922,296	1,239,190
	河	川 内 捕 獲 率	9.3	11.2
日 本 海 区	沿	岸	38,895	24,891
	河	川	11,383	8,171
	合	計	50,278	33,062
	河	川 内 捕 獲 率	22.6	24.7
根 室 海 区	沿	岸	224,833	133,928
	河	川	173,651	66,159
	合	計	398,484	200,087
	河	川 内 捕 獲 率	43.5	33.1
襟 裳 以 東 海 区	沿	岸	555,768	355,415
	河	川	64,890	79,996
	合	計	620,658	435,411
	河	川 内 捕 獲 率	10.5	18.4
襟 裳 以 西 海 区	沿	岸	195,926	199,995
	河	川	17,833	12,636
	合	計	213,759	212,631
	河	川 内 捕 獲 率	8.3	5.9

1961 (36年度)	1962 (37年度)	1963 (38年度)	1964 (39年度)
3,083,721	3,119,654	3,953,095	4,305,000
427,506	370,988	360,368	592,447
3,511,227	3,490,642	4,313,463	4,897,447
92.2	10.6	8.4	13.7
1,725,635	1,411,666	1,856,618	1,907,324
62,328	56,654	65,892	49,521
1,787,963	1,468,320	1,922,510	1,956,845
3.5	3.9	3.4	2.6
16,245	44,872	25,553	33,383
13,887	22,285	21,981	11,945
30,132	67,157	47,534	45,328
46.1	33.1	46.2	36.0
498,636	424,111	677,804	1,097,272
151,840	125,319	120,818	181,677
650,476	549,430	798,622	1,278,949
23.3	22.8	15.1	16.5
625,243	754,303	866,782	983,772
178,266	144,689	136,016	335,608
803,509	898,992	1,002,798	1,319,380
22.2	16.1	13.6	34.0
217,962	484,702	526,338	283,249
21,185	22,185	15,661	13,696
239,147	506,887	541,999	296,945
8.9	4.4	2.9	4.75

(第9表) サケの年令組織(1963年及び1964年)

河川名	年次	性別	年
			2
石狩川	1963	♀	
		♂	36
		計	36
	1964	♀	
		♂	8
		計	8 (1.8)
天塩川	1963	♀	
		♂	1
		計	1 (0.3)
	1964	♀	
		♂	
		計	
湧別川	1963	♀	
		♂	1
		計	1 (0.3)
	1964	♀	
		♂	
		計	
常呂川	1963	♀	
		♂	5
		計	5 (2.7)
	1964	♀	
		♂	
		計	
網走川	1963	♀	
		♂	2
		計	2 (0.4)
	1964	♀	
		♂	2
		計	2 (0.7)

令 (%)				標本尾数
3	4	5	6	
42 79 121	227 261 488	24 20 44		689
172 134 306 (68.8)	20 15 35 (7.8)	60 36 96 (21.6)		445
8 22 30 (10.0)	173 46 219 (73.3)	27 21 48 (16.1)	1 1 (0.3)	299
30 55 85 (22.5)	214 51 265 (70.3)	25 2 27 (7.2)		377
43 196 237 (80.2)	13 34 47 (15.8)	6 4 10 (3.4)	1 1 (0.3)	298
17 61 78 (64.5)	15 22 37 (30.6)	3 3 6 (4.9)		121
20 71 91 (49.5)	40 42 82 (44.6)	3 3 6 (3.2)		184
9 134 143 (50.5)	23 113 136 (48.1)	1 3 4 (1.4)		284
28 201 229 (49.0)	58 174 232 (49.7)	1 3 4 (0.9)		467
1 117 118 (40.1)	2 168 170 (57.8)	4 4 4 (1.4)		294

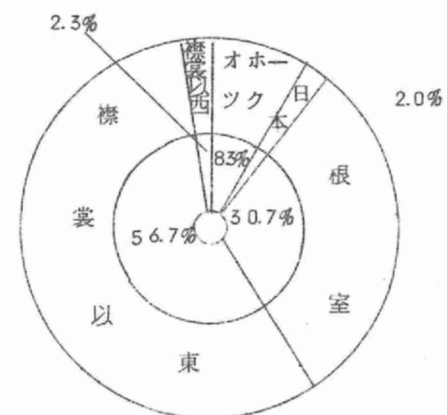
河 川 名	年 次	性 別	年
			2
標 津 川	1 9 6 3	♀ ♂ 計	4 4 (0.7)
	1 9 6 4	♀ ♂ 計	
西 別 川	1 9 6 3	♀ ♂ 計	2 2 (0.4)
	1 9 6 4	♀ ♂ 計	
別 寒 辺 牛 川	1 9 6 3	♀ ♂ 計	2 2 (0.7)
	1 9 6 4	♀ ♂ 計	
銅 路 川	1 9 6 3	♀ ♂ 計	
	1 9 6 4	♀ ♂ 計	
十 勝 川	1 9 6 3	♀ ♂ 計	2 4 2 4 (1 3.5)
	1 9 6 4	♀ ♂ 計	

令 (%)				標 本 尾 数
3	4	5	6	
3 1 3 7 1 4 0 (2 6.0)	1 6 4 1 9 1 3 5 5 (6 6.0)	3 2 8 3 1 (5.8)	8 8 (1.5)	5 3 8
5 5 1 1 1 1 6 6 (3 9.4)	1 2 9 7 6 2 0 5 (4 8.7)	3 5 1 5 5 0 (1 1.9)		4 2 1
9 5 7 7 1 7 2 (3 7.2)	1 8 8 5 9 2 4 7 (5 3.5)	2 9 1 2 4 1 (8.9)		4 6 2
4 1 9 8 1 2 9 (5 1.4)	8 0 3 5 1 1 5 (4 5.8)	6 1 7 (2.8)		2 5 1
2 4 1 9 4 3 (1 4.7)	1 5 3 6 8 2 2 1 (7 5.4)	2 2 5 2 7 (9.2)		2 9 3
4 6 5 3 9 9 (3 2.0)	1 1 0 3 7 1 4 7 (4 7.6)	5 2 1 1 6 3 (2 0.4)		3 0 9
1 8 2 1 3 9 (2 4.7)	7 1 4 2 1 1 3 (7 1.5)	2 2 4 (2.5)	2 2 (1.3)	1 5 8
2 5 2 0 1 2 2 6 (6 2.6)	3 2 8 6 1 1 8 (3 2.7)	6 1 1 1 7 (4.7)		3 6 1
3 6 3 6 (2 0.2)	8 0 2 5 1 0 5 (5 9.0)	6 5 1 1 (6.2)	1 1 2 (1.1)	1 7 8
2 1 8 2 1 8 4 (4 3.6)	3 4 1 0 6 1 4 0 (3 3.2)	4 6 5 2 9 8 (2 3.2)		4 2 2

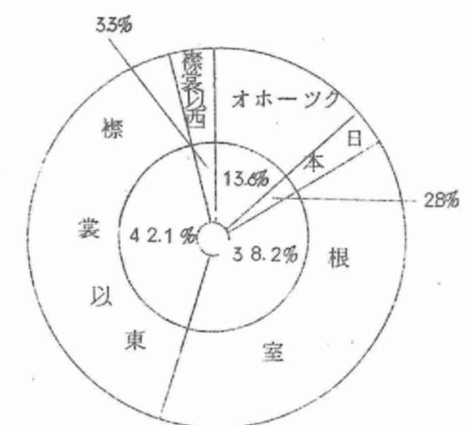
(第10表) 鮭の事業計画と実績並びに前年度との比較

区 分	昭和39年度			昭和38年度	前年度との 対比増減
	計画数	実績	達成率	実績	
捕 獲 数	525,970	592,447	112.6	360,368	(+) 232,079
♀ 使 用 数	228,809	166,770	72.9	146,890	(+) 19,880
採 卵 数	619,494,000	413,425,500	66.3	362,441,210	(+) 50,984,290
収 容 卵 数	595,567,000	388,428,775	65.2	318,345,640	(+) 70,083,135
ふ 出 尾 数	553,877,000	348,012,890	62.8	283,278,840	(+) 6,273,405
放 流 尾 数	542,223,000	334,462,600	61.7	272,105,900	(+) 62,356,700

海 区 別 鮭 捕 獲 成 績 図



海 区 別 鮭 採 卵 成 績 図



海 区 別 鮭 放 流 成 績 図



昭和39年度支、事業場

支 場	事業場	捕 獲 数			使 用 親 魚 数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
北 見	梶 内 渚 滑 湧 別 北 見 網 走 藻 琴 斜 里 岩 尾 本 年 前 年 計	尾 520	尾 422	尾 942	尾 520	尾 258	尾 778
		2,278	2,802	5,080	1,979	1,169	3,148
		4,626	4,706	9,332	4,167	2,045	6,212
		4,825	5,315	10,140	4,156	1,487	5,643
		4,644	4,177	8,821	4,415	1,318	5,733
		103	111	214	103	74	177
		5,061	4,292	9,353	4,780	3,441	8,221
		67	116	183	67	70	137
		22,124	21,941	44,065	20,187	9,862	30,049
		33,746	28,973	62,719	31,034	12,184	44,018
根 室	羅 白 薫 別 伊 茶 根 仁 計 室 虹 別 浜 中 厚 床 本 年 前 年 計	7,422	9,000	16,422	6,966	4,807	11,773
		2,051	1,646	3,697	2,004	997	3,001
		245	310	555	242	121	363
		7,417	8,581	15,998	7,331	4,110	11,441
		3,704	3,816	7,520	3,693	1,898	5,591
		51,968	78,404	130,372	46,941	20,055	66,996
		1,520	1,698	3,218	1,436	615	2,051
		1,943	1,952	3,895	1,926	905	2,831
		76,270	105,407	181,677	70,539	33,508	104,047
		60,095	60,723	120,818	56,703	25,258	81,961
十 勝	太 田 鋼 路 鶴 居 阿 寒 幕 別 札 内 十 勝 大 樹	1,120	825	1,945	1,114	481	1,595
		21,033	30,119	51,152	15,475	7,224	22,699
		477	476	953	443	221	664
		270	418	688	146	50	196
		7,341	18,972	26,313	4,901	1,318	6,219
		47,425	161,843	209,268	30,603	7,173	37,776
		13,969	30,565	44,534	10,992	3,366	14,358
		394	361	755	381	151	532

別畦親魚捕獲採卵成績表

採卵数	収容前 死卵数	収容卵数	♀親魚 使用率	平 均 採卵数	実 施 期 間
粒	粒	粒	%	粒	自 至
1,402,300	9,800	1,392,500	100.0	2,697	9. 1 ~ 12. 14
4,208,500	195,500	4,013,000	86.9	2,127	9. 1 ~ 12. 29
9,453,000	644,300	8,808,700	90.1	2,269	9. 1 ~ 12. 21
海 265,800	8,400	257,400	86.1	2,741	9. 1 ~ 12. 20
海 1,391,100	182,800	1,208,300	85.0	2,343	9. 1 ~ 12. 31
海 204,000	8,500	195,500	95.1	2,509	9. 1 ~ 12. 20
10,345,000	265,800	10,079,200	100.0	2,568	9. 1 ~ 12. 19
257,600	5,100	252,500	94.4	2,351	9. 1 ~ 12. 25
12,272,900	210,600	12,062,300	100.0	2,451	9. 1 ~ 12. 31
海 1,085,900	3,400	1,082,500	91.2	2,327	10. 3 ~ 12. 28
海 15,750	1,000	15,650	97.7	2,417	9. 10 ~ 12. 16
海 1,555,700	20,500	1,535,200	98.8	2,463	9. 21 ~ 12. 10
49,487,900	1,514,900	47,973,000	98.0	2,442	9. 1 ~ 12. 21
74,073,600	3,425,100	70,648,500	99.7	2,262	9. 11 ~ 12. 20
海 581,350	11,350	570,000	90.3	2,164	9. 1 ~ 1. 24
15,144,830	364,830	14,780,000	94.5	2,797	9. 10 ~ 11. 23
4,842,700	112,700	4,730,000	99.1	2,506	9. 7 ~ 11. 30
596,100	6,100	590,000	92.5	2,230	9. 1 ~ 1. 24
17,904,000	665,000	17,239,000	94.4	2,372	8. 1 ~ 12. 25
8,351,800	434,900	7,916,900	99.5	2810	9. 10 ~ 10. 31
101,584,600	7,962,800	93,621,800	73.6	2,650	9. 1 ~ 12. 20
4,016,400	61,400	3,955,000	92.9	2,606	9. 24 ~ 11. 17
4,826,700	89,700	4,737,000	54.1	3,521	9. 12 ~ 10. 31
海 581,350	11,350	570,000	66.8	2,226	9. 21 ~ 11. 10
157,267,130	9,697,430	147,569,700	64.5	2,819	9. 10 ~ 11. 4
海 912,000	29,500	882,500	78.7	2,624	9. 1 ~ 11. 26
133,574,190	8,923,790	124,650,400	96.7	2,642	10. 5 ~ 12. 20
3,130,000	101,900	3,028,100			
41,005,100	2,855,000	38,150,100			
1,154,650	11,475	1,143,200			
514,000	4,800	509,200			
10,910,000	338,000	10,572,000			
86,281,300	6,379,600	79,901,700			
28,850,100	1,017,600	27,832,500			
1,006,600	72,400	934,200			

支 場	事 業 場	捕 獲 数			使 用 親 魚 数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
計	本 年 度	92,029	243,579	335,608	64,055	19,984	84,039
	前 年 度	60,453	75,563	136,016	42,887	13,366	56,253
天 塩	徳 志 別	66	42	108	62	23	85
	歌 登	2,064	2,505	4,569	1,885	522	2,407
	屯 別	300	479	779	264	133	397
	中 川	1,139	1,125	2,264	1,057	148	1,205
	天 塩	1,311	1,782	3,093	815	182	997
	本 年 度	4,880	5,933	10,813	4,083	1,008	5,091
	前 年 度	5,142	6,144	11,286	3,880	939	4,819
千 歳	千 才	2,447	3,911	6,358	1,565	860	2,425
	音 江	644	851	1,495	566	120	686
	静 内	700	961	1,661	658	246	904
	白 老	154	256	410	147	126	273
	敷 生	61	104	165	58	45	103
	本 年 度	4,006	6,083	10,089	2,994	1,397	4,391
	前 年 度	9,452	10,752	20,204	7,388	2,828	10,216
渡 島	八 雲	391	244	635	357	95	452
	知 内	4,289	3,806	8,095	3,835	1,585	5,420
	厚 沢 部	240	265	505	240	157	397
	利 別	408	391	799	403	193	596
	尻 別	77	84	161	77	22	99
	本 年 度	5,405	4,790	10,195	4,912	2,052	6,964
	前 年 度	4,501	4,824	9,325	4,198	2,013	6,211
合 計	本 年 度	204,714	387,733	592,447	166,770	62,811	234,581
	前 年 度	173,389	186,979	360,368	146,890	56,588	203,478
	前 年 対 比	+ 31,325	+ 200,754	+ 232,079	+ 19,880	+ 11,223	+ 31,103

~22~

採 卵 数	収 容 前 死 卵 数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 使用率	平 均 採 卵 数	実 施 期 間
172,851,750	10,780,775	162,071,000	69.6%	2,359	9. 1 ~ 12. 20
110,511,800	30,749,500	79,762,300	70.9	2,577	9. 8 ~ 12. 25
193,600	3,600	190,000	93.9	3,122	9. 11 ~ 10. 31
5,321,000	201,400	5,119,600	91.3	2,823	9. 11 ~ 11. 20
682,600	15,000	667,600	88.0	2,586	9. 16 ~ 11. 30
3,012,100	16,000	2,996,100	92.8	2,850	9. 1 ~ 11. 30
2,162,500	47,800	2,114,700	62.2	2,653	9. 1 ~ 11. 20
11,371,800	283,800	11,088,000	83.7	2,785	9. 1 ~ 11. 30
10,933,900	356,660	10,577,240	75.5	2,818	9. 10 ~ 11. 30
4,063,100	75,500	3,987,600	64.0	2,596	8. 25 ~ 12. 19
1,354,500	31,500	1,323,000	87.9	2,393	8. 28 ~ 10. 29
1,905,100	85,100	1,820,000	94.0	2,895	9. 17 ~ 12. 25
327,100	7,100	320,000	95.5	2,225	10. 1 ~ 12. 10
152,400	2,400	150,000	95.1	2,628	9. 24 ~ 12. 10
7,802,200	201,600	7,600,600	74.7	2,606	8. 25 ~ 12. 25
21,341,800	449,200	20,892,600	70.8	2,089	9. 1 ~ 12. 20
海 215,000	6,200	208,800	91.3	3,262	9. 1 ~ 12. 28
1,164,500	19,000	1,145,500			
海 150,000	3,100	146,900	89.4	2,299	9. 21 ~ 12. 30
8,816,800	161,500	8,655,300			
712,100	9,500	702,600	100.0	2,967	9. 11 ~ 12. 10
1,254,600	19,600	1,235,000	98.8	3,113	9. 17 ~ 11. 23
194,800	2,300	192,500	100.0	2,530	9. 28 ~ 11. 30
海 365,000	9,300	355,700	90.9	2,472	9. 1 ~ 12. 30
12,142,800	211,900	11,930,900	93.3	2,643	9. 11 ~ 12. 27
11,093,920	161,820	10,932,100			
413,425,500	22,731,200	390,694,300	81.5	2,464	8. 25 ~ 1. 24
362,441,210	44,095,470	318,345,740	84.7	2,467	8. 1 ~ 12. 31
+ 50,984,290	- 21,364,270	+ 72,348,560	- 3.2	- 3	

~23~

昭和39年度海区水系別

海区	水系	採卵場	捕獲数			使用親魚数		
			♀	♂	計	♀	♂	計
才 ホ ト ツ ク 海 区	岩尾別	岩尾別	尾67	尾116	尾183	尾67	尾70	尾137
	斜里	斜里	5,061	4,292	9,353	4,780	3,441	8,221
	藻琴	藻琴	103	111	214	103	74	177
	網走	網走	4,239	3,862	8,101	4,010	1,142	5,152
	"	西網走	405	315	720	405	176	581
	小計		4,644	4,177	8,821	4,415	1,318	5,733
	常呂	常呂	4,825	5,315	10,140	4,156	1,487	5,643
	湧別	湧別	4,626	4,706	9,332	4,167	2,045	6,212
	渚滑	渚滑	2,249	2,766	5,015	1,953	1,157	3,110
	興部	興部	29	36	65	26	12	38
	幌内	幌内	520	422	942	520	258	778
	徳志別	徳志別	66	42	108	62	23	85
	幌北	見幌別	2,064	2,505	4,569	1,885	522	2,407
	屯別	屯別	300	479	779	264	133	397
		本年度	24,554	24,967	49,521	22,398	10,540	32,938
日 本 海 区		前年度	34,909	30,983	65,892	32,724	12,516	45,240
	天塩	中川	1,229	1,254	2,483	1,104	165	1,269
	"	天塩	1,221	1,653	2,874	768	165	933
	小計		2,450	2,907	5,357	1,872	330	2,202
	石狩	石狩	577	1,539	2,116	75	7	82
	"	音江	644	851	1,495	566	120	686
	"	西越	846	666	1,512	840	329	1,169
	小計		2,067	3,056	5,123	1,481	456	1,937
	尻別	名駒	6	14	20	6	4	10
	朱太	朱太	71	70	141	71	18	89
	利別	冷水	408	391	799	403	193	596
	厚沢部	厚沢部	240	265	505	240	157	397
		本年度	5,242	6,703	11,945	4,073	1,158	5,231
		前年度	10,385	11,596	21,981	8,013	2,459	10,472

鮭親魚捕獲採卵成績表

採卵数	収容前死卵数	収容卵数	♀親魚使用率	平均採卵数	実施期間
海 1,085,770粒	3,270粒	1082,500粒	100.0%	2,351粒	9. 1 ~ 12. 25
157,500	1,000	156,500			
12,272,900	210,600	12,062,300	94.4	2,568	9. 1 ~ 12. 19
257,600	5,100	252,500	100.0	2,501	9. 1 ~ 12. 20
海 204,000	8,500	195,500	94.6	2,335	9. 1 ~ 12. 18
936,430	249,100	9,115,200			
980,700	16,700	964,000	100.0	2,421	10. 21 ~ 12. 31
10,345,000	265,800	10,079,200	95.1	2,343	9. 1 ~ 12. 20
海 265,800	8,400	257,400	86.1	2,741	9. 1 ~ 12. 20
11,391,100	182,800	11,208,300			
9,453,000	644,300	8,808,700	90.1	2,269	9. 1 ~ 12. 21
4,150,500	192,500	3,958,000	86.9	2,125	9. 1 ~ 12. 29
58,000	3,000	55,000	89.7	2,231	9. 1 ~ 12. 20
1,402,300	9,800	1,392,500	100.0	2,697	9. 1 ~ 12. 14
193,600	3,600	190,000	93.9	3,123	9. 11 ~ 10. 31
53,210,000	201,400	5,119,600	91.3	2,823	9. 11 ~ 11. 20
682,600	15,000	667,600	88.0	2,587	9. 16 ~ 11. 30
海 1,555,570	20,170	1,535,400	91.2	2,486	9. 1 ~ 12. 29
55,685,100	1,734,900	53,950,200			
76,595,500	3,464,300	73,131,200	93.7	2,340	
3,157,300	17,900	3,139,400	89.8	2,859	9. 1 ~ 11. 30
2,017,300	45,900	1,971,400	62.9	2,627	9. 1 ~ 11. 20
5,174,600	63,800	5,110,800	76.4	2,764	9. 1 ~ 11. 30
161,300	2,000	159,300	13.0	2,151	9. 10 ~ 11. 6
1,354,500	31,500	1,323,000	87.9	2,393	8. 28 ~ 10. 29
2,541,200	30,400	2,510,800	99.3	3,025	9. 11 ~ 12. 19
4,057,000	63,900	3,993,100	71.6	2,739	8. 28 ~ 12. 19
15,100	100	15,000	100.0	2,517	10. 1 ~ 11. 21
179,700	2,200	177,500	100.0	2,531	9. 28 ~ 11. 30
1,254,600	19,600	1,235,000	98.8	3,113	9. 17 ~ 11. 23
712,100	9,500	702,600	100.0	2,967	9. 11 ~ 12. 10
11,393,100	159,100	11,234,000	77.1	2,797	
22,863,920	562,280	22,301,640	77.2	2,853	

海 区	水 系	採 卵 場	捕 獲 数			使用親魚数		
			♀	♂	計	♀	♂	計
根 室 海 区	ル	サ	尾	尾	尾	尾	尾	尾
	羅	白	10	17	27	9	3	12
	春刈古丹	春刈古丹	7,349	8,942	16,291	6,894	4,772	11,666
	植	別	63	41	104	63	32	95
	元崎無異	元崎無異	388	213	601	384	170	554
	咲無異	咲無異	4	4	8	4	3	7
	薰別	薰別	171	119	290	170	102	272
	古多糠	古多糠	1,460	1,280	2,740	1,424	708	2,132
	忠類	忠類	28	30	58	22	14	36
	伊茶仁	伊茶仁	10	15	25	9	6	15
	標津	標津	235	295	530	233	115	348
	当幌	当幌	7,417	8,581	15,998	7,331	4,110	11,441
	春別	春別	2,996	3,481	6,477	2,985	1,563	4,548
	床丹	床丹	97	48	145	97	48	145
	西別	西別	611	287	898	611	287	898
	矢白	矢白	51,968	78,404	130,372	46,941	20,055	66,996
	風連	風連	—	18	18	—	—	—
	別当賀	別当賀	1,520	1,680	3,200	1,436	615	2,051
襟 裳 以 東	本	年度	1,943	1,952	3,895	1,926	905	2,831
	前	年度	76,270	105,407	181,677	70,539	33,508	104,047
	別寒辺牛	別寒辺牛	60,095	60,723	120,818	56,703	25,258	81,961
	釧路	釧路	1,120	825	1,945	1,114	481	1,595
	阿寒	阿寒	21,033	30,119	51,152	15,475	7,224	22,699
	路	路	270	418	688	146	50	196
	茶路	茶路	2	2	4	2	2	4
	音別	音別	422	428	850	395	177	572
	十勝	東33号	53	46	99	46	42	88
	〃	千代田	4,333	12,429	16,762	2,019	183	2,202
	〃	東15号	13,969	30,565	44,534	10,992	3,366	14,358
	〃	打内	169	112	281	163	67	230
	〃	〃	47,256	161,731	208,987	30,440	7,106	37,546

~26~

採 卵 数	収 容 前 死 卵 数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 使用率	平 均 採 卵 数	実 施 期 間
粒	粒	粒	%	粒	自 至
21,250	1,250	20,000	90.0	2,361	11. 7 ~ 12 23
海 581,350	11,350	570,000	93.8	2,168	10. 15 ~ 12 28
14,948,800	360,800	14,588,000	100.0	2,774	10. 3 ~ 12 10
174,780	2,780	172,000	99.0	2,475	9. 10 ~ 12 16
950,500	30,500	920,000	100.0	650	10. 15 ~ 12 14
2,600	100	2,500	99.4	2,608	9. 11 ~ 12 14
443,300	10,800	432,500	97.5	2,382	9. 21 ~ 12 15
3,392,300	69,800	3,322,500	78.6	2,455	10. 15 ~ 12 16
54,000	1,500	52,500	90.0	2,244	10. 11 ~ 11 20
20,200	200	20,000	99.1	2,472	9. 21 ~ 12 10
575,900	5,900	570,000	98.8	2,442	9. 1 ~ 12 21
17,904,000	665,000	17,239,000	99.6	2,183	9. 15 ~ 12 20
651,500	350,800	6,164,200	100.0	2,122	9. 21 ~ 12 10
205,800	13,800	192,000	100.0	2,669	9. 11 ~ 12 10
1,631,000	70,300	1,560,700	90.3	2,164	9. 1 ~ 1. 24
101,584,600	7,962,800	93,621,800	—	—	9. 15 ~ 11 20
—	—	—	—	—	9. 10 ~ 11 23
4,016,400	61,400	3,955,000	99.1	2,506	9. 7 ~ 11 30
海 4,826,700	89,700	4,737,000	92.5	2,230	9. 1 ~ 12 28
157,267,130	9,697,430	147,569,700	94.3	2,372	9. 10 ~ 10 31
海 912,000	29,500	882,500	99.5	2,810	9. 1 ~ 12 20
133,574,190	8,923,790	124,650,400	73.6	3,520	9. 12 ~ 10 31
3,130,000	101,900	3,028,100	100.0	1,550	10. 24 ~ 11 17
41,005,100	2,855,000	38,150,100	93.6	2,643	9. 24 ~ 11 19
514,000	4,800	509,200	86.8	2,342	10. 26 ~ 11 17
3,100	100	3,000	4.66	2,036	9. 10 ~ 11 4
1,043,800	10,050	1,033,750	78.7	2,825	9. 1 ~ 11 26
107,750	1,325	106,500	96.4	2,393	9. 26 ~ 10 31
4,110,000	126,000	3,984,000	64.4	2,822	9. 11 ~ 11 20
28,850,100	1,017,600	27,832,500			
390,000	9,700	380,300			
85,891,300	6,369,900	79,521,400			

~27~

海区	水系	採卵場	捕獲数			使用親魚数		
			♀	♂	計	♀	♂	計
襟裳以東海区	十勝小川	幕利別	3,002	6,516	9,518	2,882	1,135	4,017
		別利	6	27	33	—	—	—
		計	68,735	211,380	280,115	46,496	11,857	58,353
		歴舟	394	361	755	381	151	532
		本年度	92,029	243,579	335,608	64,055	19,984	84,039
		前年度	60,453	75,563	136,016	42,887	13,366	56,253
襟裳以西海区	幌元三静新沙小鵠勇白敷長遊有茂龜知	日高幌別	0	85	85	—	—	—
		元浦河	144	491	635	56	93	149
		舞島	0	4	4	—	—	—
		三石	54	57	111	48	28	76
		内静	700	961	1,661	658	246	904
		新冠	102	122	224	91	81	172
		流富	7	2	9	3	2	5
		平取	225	377	602	56	19	75
		計	232	379	611	59	21	80
		川鵠	239	292	531	164	220	384
		弘勇	253	276	529	232	81	313
		老白	154	256	410	147	126	273
		敷生	61	104	165	58	45	103
		長万部	23	41	64	11	6	17
		遊楽部	368	203	571	346	89	435
		有川	3	15	18	—	—	—
		茂辺地	3,991	3,519	7,510	3,581	1,454	5,035
		川龜	198	151	349	179	78	257
		知内	97	121	218	75	53	128
		本年度	66,19	7,077	13,696	5,705	2,621	8,326
		前年度	7,547	8,114	15,661	6,563	2,989	9,552
		本年度	20,4714	38,733	59,2447	16,6770	6,7811	23,4581
		前年度	173,389	186,979	360,368	146,890	56,588	203,478
		前年対比	+ 31,325	+ 200,754	+ 232,079	+ 19,880	+ 11,223	+ 31,103

採卵数	収容前死卵数	収容卵数	♀親魚使用率	平均採卵数	実施期間
6,800,000	212,000	6,558,000	96.0	2,359	9. 21 ~ 11 10
—	—	—	—	—	9. 21 ~ 10 20
126,041,400	7,735,200	118,306,200	67.6	2,711	9. 1 ~ 12 20
1,006,600	72,400	934,200	96.7	2,642	10. 5 ~ 12 20
172,851,750	10,780,775	162,071,000	69.6	2,698	9. 1 ~ 12 20
110,511,800	30,749,500	79,762,300	70.9	2,577	
—	—	—	—	—	9. 25 ~ 11 30
111,000	11,000	100,000	38.9	1,982	9. 23 ~ 12 25
—	—	—	—	—	10. 2 ~ 11 30
113,400	3,400	110,000	88.9	2,363	10. 1 ~ 12 5
1,905,100	85,100	1,820,000	94.0	2,895	9. 17 ~ 12 5
162,500	5,000	157,500	89.2	1,786	9. 19 ~ 12 10
7,900	400	7,500	42.9	2,633	11. 1 ~ 11 30
158,900	8,500	150,400	24.9	2,838	9. 10 ~ 11 30
166,800	8,900	157,900	25.4	2,827	9. 10 ~ 12 25
335,100	4,100	331,000	68.6	2,043	9. 7 ~ 11 25
471,800	10,700	461,100	91.7	2,034	8. 25 ~ 12 8
327,100	7,100	320,000	95.5	2,225	10. 1 ~ 12 10
152,400	2,400	150,000	95.1	2,628	9. 24 ~ 12 10
33,500	1,000	32,500	47.8	3,045	9. 1 ~ 11 16
215,000	6,200	208,800	94.0	3,269	9. 1 ~ 12 28
1,131,000	18,000	1,113,000	0	—	9. 21 ~ 11 15
150,000	3,100	146,900	—	—	
7,966,800	156,800	7,810,000	89.7	2,225	10. 6 ~ 12 30
618,600	1,300	617,300	90.4	3,456	10. 5 ~ 12 10
231,400	3,400	228,000	77.3	3,085	10. 25 ~ 12 10
365,000	9,300	355,700	—	—	
13,726,500	318,200	13,408,300	86.2	2,406	
17,983,800	366,200	17,617,600	86.9	2,740	
413,425,500	22,731,200	390,694,300	81.5	2,464	
362,441,210	44,095,470	318,345,740	84.7	2,467	
+ 50,984,290	- 21,364,270	+ 72,348,560	- 32	- 3	

(3) 鮭ふ化放流概況

本年度のふ化放流は岩尾別以下39事業場と3ヶ所の民間収容所合計42ヶ所で行った。収容卵数は390,173,900粒、ふ出稚魚数348,012,890尾、ふ出率は89.2%であった。捕獲し採卵している河川でふ化場のない河川、23河川のうち14河川に6,557,200尾、2,600尾の稚魚を放流した。ふ出数に対する放流率は96.1%である。なおこのうち23ヶ所は2倍の体重として放流した。

昭和39年度支、事業

支 場	事業場	収 容 卵 数	死 卵 数	ふ 出 尾 数	ふ 化 率
北 見	幌 内	1,392,500	97,700	1,294,800	93.0
	渚 滑	4,013,000	805,000	3,208,000	79.9
	湧 別	18,456,200	1,756,100	16,700,100	90.5
	北 見	11,465,700	2,516,400	8,949,300	78.1
	網 走	17,294,800	2,955,800	14,339,000	82.9
	藻 琴	252,500	15,200	237,300	94.0
	斜 里	7,577,500	449,500	7,128,000	94.1
	岩 尾 別	4,789,000	461,200	4,327,800	90.4
	本 年 度	65,241,200	9,056,900	56,184,300	86.1
	前 年 度	70,817,500	10,282,400	60,535,100	85.5
根 室	羅 臼	11,057,500	899,110	10,158,390	91.9
	薫 別	15,342,500	1,415,800	13,926,700	90.8
	伊 茶 仁	23,837,500	2,110,400	21,727,100	91.1
	根 室	5,387,500	1,034,200	4,353,300	80.8
	中 標 津	10,324,000	1,581,300	8,742,700	84.7
	計 根 別	8,787,500	902,000	7,885,500	89.7
	虹 別	53,671,100	3,381,200	50,289,900	93.7
	浜 中	4,495,000	405,700	4,089,300	91.0
	厚 床	4,737,000	266,000	4,471,000	94.4
	(床 丹)	1,328,400	130,000	1,198,400	90.2
十 勝	本 年 度	138,968,000	12,125,710	126,842,290	91.5
	前 年 度	123,855,400	9,641,100	114,214,300	92.2
	太 田	3,028,100	222,000	2,806,100	92.7
	釧 路	29,840,500	3,621,200	26,219,300	87.9
	鶴 居	9,961,975	882,500	9,079,500	91.1
	幕 別	23,450,800	3,228,000	20,222,800	86.2
	札 内	44,827,700	5,722,500	39,105,200	87.2
	十 勝	22,097,700	1,876,000	20,221,700	91.5

~30~

つた。稚魚は前記42ヶ所の所在する36水系に327,905,400尾を放流したほか、親魚をの稚魚を還元放流した。即ち本年度の鮭捕獲採卵実施河川65水系のうち56河川に334,460,818,100尾は浮上直後無給餌で放流し103,644,500尾を約30日間給餌飼育し、ほ

場別鮭ふ化放流成績表

放 流 尾 数			放 流 期 間	備 考
無 給 餌	給 餌 後	合 計		
1,287,000		1,287,000	4. 15 ~ 4. 30	
3,185,000		3,185,000	2. 28 ~ 4. 11	
2,755,300	13,859,300	16,614,600	3. 25 ~ 6. 5	
2,486,000	5,710,000	8,196,000	3. 3 ~ 5. 4	
13,511,000		13,511,000	3. 8 ~ 4. 30	
237,200		237,200	4. 15 ~ 5. 15	
7,023,000		7,023,000	3. 10 ~ 4. 30	
3,956,600		3,956,600	6. 1 ~ 6. 20	
34,441,100	19,569,300	54,010,400	2. 28 ~ 6. 20	
41,386,300	16,128,300	57,514,600	1. 21 ~ 6. 10	
10,154,000		10,154,000	3. 9 ~ 5. 10	
13,457,000		13,457,000	5. 1 ~ 5. 13	
1,488,200	19,724,100	21,212,300	4. 26 ~ 6. 30	
1,354,000		1,354,000	4. 25 ~ 5. 20	
8,368,700		8,368,700	4. 12 ~ 5. 31	
7,790,000		7,790,000	4. 1 ~ 5. 31	
49,726,400		49,726,400	2. 1 ~ 5. 15	
3,986,000		3,986,000	4. 5 ~ 5. 30	
4,465,000		4,465,000	4. 20 ~ 5. 31	
1,180,000		1,180,000	3. 15 ~ 5. 31	民間収容所
101,969,300	19,724,100	121,693,400	2. 1 ~ 6. 30	
836,068,000	26,734,500	110,341,300	1. 20 ~ 6. 20	
2,306,600		2,306,600	4. 1 ~ 5. 20	
7,701,000	17,993,800	25,694,800	3. 25 ~ 5. 15	
9,482,600		9,482,600	3. 5 ~ 4. 30	
2,374,500	17,824,000	20,198,500	3. 1 ~ 4. 10	
18,865,000	17,975,000	36,840,000	2. 15 ~ 4. 28	
20,120,700		20,120,700	4. 10 ~ 5. 31	

~31~

支 場	事業場	収 容 卵 数	死 卵 数	ふ 出 尾 数	ふ 化 率
	大 樹	3,081,400	274,700	2,806,700	91.1
	本 年 度	13,628,175	15,826,900	120,461,300	88.4
	前 年 度	7,959,330	8,430,700	71,162,600	89.1
天 塩	徳 志 別	2,289,600	389,300	1,900,300	83.0
	歌 登	3,020,000	194,800	2,825,200	93.5
	屯 別	3,097,600	379,100	2,718,500	87.7
	中 川	9,364,200	452,500	8,911,700	95.2
	天 塩	3,323,900	178,500	3,145,400	94.6
	本 年 度	21,095,300	1,594,200	19,501,100	92.4
	前 年 度	10,577,240	879,300	9,697,940	91.2
千 才	千 才	5,716,400	1,193,100	4,523,300	79.1
	音 江	1,323,000	161,000	1,162,000	87.8
	静 内	3,987,500	551,900	3,435,600	86.2
	白 老	320,000	64,100	255,900	80.0
	(鵜 川)	331,000	3,100	327,900	99.1
	敷 生	2,770,000	130,900	2,639,100	95.3
	本 年 度	14,447,900	2,104,100	12,343,800	85.5
	前 年 度	20,892,600	2,243,000	18,649,600	89.2
渡 島	八 雲	2,397,800	525,700	1,872,100	78.1
	(茂 辺 地)	7,810,000	853,800	6,956,200	89.1
	知 内	2,065,400	243,600	1,821,800	88.2
	厚 沢 部	702,600	39,600	663,000	94.4
	利 別	1,235,000	42,300	1,192,700	96.6
	尻 別	192,500	18,200	174,300	90.5
	本 年 度	14,403,300	1,723,200	12,680,100	88.0
	前 年 度	12,609,600	1,590,300	11,019,300	87.4
	本 年 度	39,044,390	4,243,100	34,801,289	89.2
	前 年 度	31,834,564	3,306,680	28,527,884	89.5

放 流 尾 数			放 流 期 間	備 考
無 給 餌	給 餌 後	合 計		
2,695,000		2,695,000	2. 1 ~ 4. 30	
63,545,400	53,792,800	117,338,200	2. 1 ~ 5. 31	
43,042,700	25,575,000	68,617,700	1. 20 ~ 5. 20	
1,748,300		1,748,300	1. 5 ~ 2. 27	
2,730,000		2,730,000	2. 25 ~ 4. 20	
2,650,000		2,650,000	2. 20 ~ 3. 31	
2,407,000	6,185,000	8,592,000	3. 1 ~ 4. 3	
2,893,800		2,893,800	4. 1 ~ 5. 10	
12,429,100	6,185,000	18,614,100	1. 5 ~ 5. 10	
4,351,900	4,870,000	9,221,900	2. 20 ~ 5. 20	
907,300	3,088,500	3,995,800	3. 1 ~ 5. 8	
1,147,000		1,147,000	4. 10 ~ 4. 27	
2,720,000		2,720,000	3. 10 ~ 4. 26	
250,000		250,000	2. 18 ~ 4. 15	
327,400		327,400	2. 15 ~ 4. 15	民間収容所
2,440,000		2,440,000	3. 2 ~ 3. 31	
7,791,700	3,088,500	10,880,200	1. 21 ~ 5. 8	
18,147,100		18,147,100	2. 1 ~ 5. 12	
225,300	1,284,800	1,510,100	2. 1 ~ 5. 11	
6,956,000		6,956,000	3. 10 ~ 4. 20	民間収容所
1,574,000		1,574,000	2. 15 ~ 4. 30	
650,000		650,000	2. 1 ~ 2. 20	
1,077,400		1,077,400	2. 20 ~ 4. 11	
158,800		158,800	2. 15 ~ 4. 30	
10,641,500	1,284,800	11,926,300	2. 1 ~ 5. 11	
8,263,300		8,263,300	2. 10 ~ 5. 10	
230,818,100	103,644,500	334,462,600	1. 5 ~ 6. 30	
198,798,100	7,330,780	206,128,880	1. 20 ~ 6. 20	

昭和39年度海区水系

海区	水系	事業場	収容卵数	死卵数	ふ出尾数	ふ化率
オホ ホ 1 ツ ク 海 区	岩尾別	岩尾別	4,789,000	461,200	4,327,800	90.4
	斜里斜	斜里斜	7,577,500	449,500	7,128,000	94.1
	藻琴藻	藻琴藻	252,500	15,200	237,300	94.0
	網走網	網走網	17,294,800	2,955,800	14,339,000	82.9
	常呂北	見	11,465,700	2,516,400	8,949,300	78.1
	湧別湧	別	18,456,200	1,756,100	16,700,100	90.5
	渚滑渚	滑	4,013,000	805,000	3,208,000	79.9
	幌内幌	内	1,392,500	97,700	1,294,800	93.0
	徳志別	徳志別	2,269,600	389,300	1,900,300	83.0
	幌歌登	登	3,020,000	119,480	2,825,200	93.5
	屯別屯	別	3,097,600	379,100	2,718,500	87.8
	海区計	本年度	73,648,400	10,020,100	63,628,300	86.4
		前年度	73,894,940	10,620,300	63,274,640	85.6
	天塩中	川	9,364,200	452,500	8,911,700	95.2
日 本 海 区	"	天塩	3,323,900	178,500	3,145,400	94.6
	小計		12,688,100	631,000	12,057,100	95.0
	石狩千	才	5,716,400	1,193,100	4,523,300	79.1
	"	音江	1,323,000	161,000	1,162,000	87.8
	小計		7,039,400	1,354,100	5,685,300	80.8
	尻別尻	別	192,500	18,200	174,300	90.5
	朱太	"				
	利別利	別	1,123,500	42,300	1,081,200	96.6
	厚沢部	厚沢部	702,600	39,600	663,000	94.4
	海区計	本年度	21,857,600	2,085,200	19,772,400	90.5
		前年度	22,187,400	2,017,700	20,169,700	90.9
	羅臼羅	臼	11,057,500	899,110	10,158,390	91.9
	薫別薫	別	15,342,500	1,415,800	13,926,700	90.8
	元崎無	元崎無	—	—	—	—

別畦ふ化放流成績表

放 流 数			放 流 期 間	備 考
無 給 餌	給 餌 後	合 計		
3,956,600		3,956,600	6. 10~6. 20	
7,023,000		7,023,000	3. 10~4. 30	
237,200		237,200	4. 15~5. 15	
13,511,000		13,511,000	3. 8~4. 30	
2,486,000	5,710,000	8,196,000	3. 3~6. 10	
2,755,300	13,859,300	16,614,600	3. 28~6. 5	
3,185,000		3,185,000	2. 28~4. 11	
1,287,000		1,287,000	4. 15~4. 30	
1,748,300		1,748,300	1. 5~2. 27	
2,730,000		2,730,000	2. 25~4. 20	
2,650,000		2,650,000	2. 20~3. 31	
4,156,940	19,569,300	61,138,700	1. 5~6. 20	
4,390,280	16,128,300	60,031,100	1. 23~6. 10	
2,407,000	6,185,000	8,592,000	3. 1~4. 30	
2,893,800		2,893,800	4. 1~5. 10	
5,300,800	6,185,000	11,485,800	3. 1~5. 10	
532,300	3,088,500	3,620,800	3. 1~5. 8	
1,147,000		1,147,000	4. 10~4. 27	
1,679,300	3,088,500	4,767,800	3. 1~5. 10	
13,800		13,800	4. 26~4. 30	
145,000		145,000	3. 30	(還元放流)
1,077,400		1,077,400	2. 20~4. 11	
650,000		650,000	2. 1~2. 20	
8,866,300	9,273,500	18,139,800	2. 1~5. 10	
14,197,300	4,870,000	19,067,300	2. 1~5. 20	
10,154,000		10,154,000	3. 9~5. 10	
12,563,000		12,563,000	5. 1~5. 13	
894,000		894,000	5. 1~5. 13	(還元放流)

海 区	水 系	事業場	収 容 卵 数	死 卵 数	ふ 出 尾 数	ふ 化 率
根 室 海 区	伊 茶 仁	伊 茶 仁	23,837,500	2,110,400	21,727,100	91.1
	忠 類	"	—	—	—	—
	標 津	根 室	5,387,500	1,034,200	4,353,300	80.8
	"	中 標 津	10,324,000	1,581,300	8,742,700	84.7
	小 計		15,711,500	2,615,500	13,096,000	83.4
	当 舘	計 根 別	8,787,500	902,000	7,885,500	89.7
	床 丹	(床 丹)	1,328,400	130,000	1,198,400	90.2
	西 別	虹 別	5,367,100	3,381,200	50,289,900	93.7
	風 連	浜 中	4,495,000	405,700	4,089,300	92.7
	矢 田 別	"				
襟 裳 以 東 海 区	別 寒 辺 牛	太 田	3,028,100	222,000	2,806,100	92.7
	釧 路	釧 路	29,840,500	3,621,200	26,219,300	87.9
	"	鶴 居	9,962,000	882,500	9,079,500	91.7
	小 計		39,802,500	4,503,700	35,298,800	88.6
	茶 十	十 勝	—	—	—	—
	"	札 内	22,097,700	1,876,000	20,221,700	91.5
	"	幕 別	44,827,700	5,722,500	39,105,200	87.2
	"		23,450,800	3,228,000	20,222,800	86.2
	小 計		90,376,200	10,826,500	79,549,700	88.0
	海 区 計	大 本 年 度	3,081,400	274,700	2,806,700	91.1
襟 裳 以 西 海 区	元 浦 河	静 内	—	—	—	—
	三 静 内	"	—	—	—	—
	新 冠	"	3,987,500	551,900	3,435,600	86.2
	沙 流	千 才	—	—	—	—
			—	—	—	—
			—	—	—	—
			—	—	—	—
			—	—	—	—
			—	—	—	—
			—	—	—	—

放 流 数			放 流 期 間	備 考
無 給 餌	給 餌 後	合 計		
—	19,724,100	19,724,100	4. 26~ 6. 30	(還元放流)
1,488,200		1,488,200	4. 26~ 6. 30	
1,354,000		1,354,000	4. 25~ 5. 20	
8,368,700		8,368,700	4. 25~ 5. 31	
9,722,700		9,722,700	4. 25~ 5. 31	
7,790,000		7,790,000	4. 1~ 5. 31	
1,180,000		1,180,000	3. 15~ 5. 31	
49,726,400		49,726,400	2. 1~ 5. 15	
3,076,000		3,076,000	4. 5~ 5. 30	
910,000		910,000	5. 10~ 5. 15	
4,465,000		4,465,000	4. 20~ 5. 31	(還元放流)
101,969,300	19,724,100	121,693,400	2. 1~ 6. 30	
8,469,240	25,648,900	110,341,300	1. 20~ 6. 20	
2,306,600		2,306,600	4. 1~ 5. 20	
7,701,000	17,993,800	25,694,800	3. 25~ 5. 15	
8,782,600		8,782,600	3. 5~ 4. 30	
16,483,600	17,993,800	34,477,400	3. 5~ 5. 15	
700,000		700,000	3. 19~ 3. 28	
20,120,700		20,120,700	4. 10~ 5. 31	
18,865,000	17,975,000	36,840,000	2. 15~ 4. 28	
2,374,500	17,824,000	20,198,500	3. 1~ 4. 10	(還元放流)
41,360,200	35,799,000	77,159,200	2. 15~ 5. 31	
2,695,000		2,695,000	2. 1~ 4. 30	
63,545,400	55,792,800	119,338,200	2. 1~ 5. 20	
43,042,700	25,575,000	68,617,700	1. 20~ 5. 20	
100,000		100,000	3. 10~ 4. 26	
100,000		100,000	"	
2,290,000		2,290,000	"	
140,000		140,000	"	
110,000		110,000	"	

海 区	水 系	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数	ふ 出 尾 数	ふ 化 率
襟 裳 以 西 海 区	鵠川	鵠川	331,000	3,100	327,900	99.1
	勇弘	千才	—	—	—	—
	白老	白老	320,000	64,100	255,900	80.0
	敷生	敷生	2,770,000	130,900	2,639,100	92.6
	貫気別	〃	—	—	—	—
	長万部	八雲	—	—	—	—
	遊楽部	〃	2,397,800	525,700	1,872,100	78.1
	有川	知内	—	—	—	—
	茂辺地	(茂辺地)	781,000	85,380	6,956,200	89.1
	亀川	知内	—	—	—	—
海 区 計 総 計	知内	〃	2,065,400	243,600	1,821,800	88.2
	本年度	本年度	19,681,700	2,373,100	17,308,600	87.9
	前年度	前年度	18,844,600	2,357,000	16,487,600	87.5
	本年度	本年度	39,044,390	42,431,010	34,801,289	89.2
	前年度	前年度	31,834,564	3,306,800	28,527,840	89.6
海 区 計 総 計	前年対比	前年対比	+ 72,098,260	+ 39,124,210	+ 62,734,050	— 0.4

⑤ 試験卵

千才	219,900粒	道立ふ化場	(ヒメマスとの交配)
虹別	10,000	青森県	(老部川で試験)
千才	10,000	淡水研日光支所	
〃	5,000	岡山県	
八雲	5,500	北大水産学部	
計	250,400		

放 流 数			放 流 期 間	備 考
無 給 餌	給 餌 後	合 計		
327,400		327,400	2. 15 ~ 4. 15	民間収容卵
355,000		355,000	4. 21 ~	(還元放流)
250,000		250,000	2. 18 ~ 4. 15	
1,490,000		1,490,000	2. 20 ~ 3. 31	
950,000		950,000	1. 21 ~ 2. 20	(還元放流)
18,000		18,000	3. 17 ~ 3. 17	
207,300	1,284,800	1,492,100	2. 1 ~ 5. 11	(還元放流)
87,000		87,000	2. 15 ~ 3. 15	
6,956,000		6,956,000	3. 10 ~ 4. 20	(還元放流)
560,000		560,000	3. 1 ~ 4. 20	民間収容卵
927,000		927,000	3. 15 ~ 4. 30	(還元放流)
14,867,700	1,284,800	16,152,500	1. 21 ~ 5. 11	
14,048,500		14,048,500	2. 10 ~ 5. 20	
230,818,100	103,644,500	334,462,600	1. 5 ~ 6. 30	
199,883,700	72,222,200	272,105,900	1. 20 ~ 6. 20	
+ 30,934,400	+ 31,422,300	+ 62,356,700		

6. 鱒 増 殖 事 業

(1) 捕獲採卵概況

鱒の増殖事業を行なっているのは、千才を除く5支場で事業実施水系は30河川、捕獲採卵実施場所は30ヶ所である。

○ 桜鱒の総捕獲数は8,309尾で計画数の95.5%採卵数は5,921,000粒で計画数の65.1%をもつて終了したが前年度に比べると捕獲は69.1%採卵数は12.6%の増加であつた。この魚種の河川沂上は5月頃から始まり蓄養期間も長期間に亘るため捕獲採卵業務共極めて難点が多く大部分の河川沂上魚は上流に逃逸して密漁されるものも多く天然産卵しているものはほんの一部であると考えられる。

○ 樺太鱒の総捕獲数は4,992尾で計画数の77.7%、採卵数は1,999,040粒で計画数の50.0%をもつて終了した。

本年度はオホーツク海区が不漁年、根室海区が豊漁年であつたが全道的傾向としてはオホーツク海区の本魚種回游量に左右されるため結局、成績は不振であつた。

特に本年度西別川の河川切替工事が樺太鱒沂上期と合流したため大量15,000尾の蓄養斃死魚が続出し、捕獲数に比して採卵成績は不振であつた。

桜鱒、樺太鱒の事業計画と実績並びに前年度との比較

(桜 鱒)

区 分	昭 和 3 9 年 度			昭和38年度	前年度との対比		備 考
	計 画 数	実 績	達成率		増	減	
捕 獲 数	8390	8309	99.0	4,915	3394	—	
♀ 使 用 数	4,160	3,558	80.7	2,392	966	—	
採 卵 数	8870,000	5920,800	668	5257,850	662950	—	
収 容 卵 数	8597,000	5844,900	68.0	5,175,720	669,180	—	
ふ 出 尾 数	8093,000	5,237,900	64.7	4,812,000	425,900	—	
放 流 尾 数	7805,000	5,089,050	65.2	4,604,700	484,350	—	

(樺 太 鱒)

区 分	昭 和 3 9 年 度			昭和38年度	前年度との対比		備 考
	計 画 数	実 績	達成率		増	減	
捕 獲 数	59960	45992	76.7	39,017	6975	—	
♀ 使 用 数	26,157	15,931	60.9	16,823	—	892	
採 卵 数	364,250,000	180,008,400	49.4	222,242,300	—	4,223,390	
収 容 卵 数	353,330,000	172,953,000	48.9	21,824,100	—	4,528,800	
ふ 出 尾 数	32,856,000	15,239,560	46.4	19,611,200	—	4,371,640	
放 流 尾 数	32,054,000	14,981,500	46.7	18,993,600	—	4,012,100	

昭和39年度支、事業場別

支 場	事 業 場	捕 獲 数			使 用 親 魚 数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
北 見	滑 里	1,132尾	709尾	1,841尾	423尾	88尾	511尾
	斜 里	433	208	641	307	140	447
	岩 尾 別	223	70	293	220	58	278
	本 年 度	1,788	987	2,775	950	286	1,236
	前 年 度	1,106	699	1,805	786	242	1,028
根 室	根 室	460	77	537	455	148	603
	計 根 別	98	55	153	90	55	145
	虹 別	1	1	2	1	1	2
	浜 中	107	44	151	95	41	136
	厚 床	624	252	876	613	221	834
計	本 年 度	1,290	429	1,719	1,254	466	1,720
	前 年 度	1,173	581	1,754	1,010	419	1,429
天 塩	德 志 別	375	142	517	206	61	267
	歌 登	177	206	383	157	39	196
	屯 別	1,266	419	1,685	50	16	66
	中 川	171	210	381	130	48	178
	本 年 度	1,989	977	2,966	543	164	707
計	前 年 度	226	341	567	92	29	121
渡 島	尻 別	628	221	849	611	167	778
	本 年 度	628	221	849	611	167	778
	前 年 度	592	197	789	504	144	648
合 計	本 年 度	5,695	2,614	8,309	3,358	1,083	4,441
	前 年 度	3,097	1,818	4,915	2,392	834	3,226
	前 年 対 比	+ 2,598	+ 796	+ 3,394	+ 966	+ 249	+ 1,215

桜鱒親魚捕獲採卵成績表

採 卵 数	収 容 前 死 卵 数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 使 用 率	平 均 採 卵 数	実 施 期 間
499,000粒	12,000粒	487,000粒	37.4%	1,180粒	5.15自 ~ 10.至 2
536,900	4,400	532,500	70.9	1,749	6.1 ~ 9.16
402,600	3,000	399,600	98.7	1,830	6.1 ~ 9.30
1,438,500	19,400	1,419,100	53.1	1,514	5.15 ~ 10.2
1,479,130	24,130	1,455,000	71.1	1,088	5.16 ~ 10.20
876,200	3,700	872,500	98.9	1,926	6.1 ~ 9.20
168,400	5,700	162,700	91.8	1,871	5.21 ~ 10.10
2,000	0	2,000	100.0	2,000	6.3 ~ 10.17
126,500	500	126,000	88.8	1,332	6.24 ~ 9.27
682,100	2,100	680,000	98.2	1,113	9.6 ~ 10.15
1,855,200	12,000	1,843,200	97.2	1,479	5.21 ~ 10.17
2,170,820	43,820	2,127,000	85.3	2,149	5.1 ~ 10.15
375,300	15,300	360,000	54.9	1,822	5.27 ~ 10.31
302,500	2,500	300,000	88.7	1,927	5.26 ~ 9.22
82,500	6,500	76,000	4.0	1,650	6.1 ~ 9.20
214,400	2,800	211,600	76.0	1,649	6.28 ~ 9.30
974,700	27,100	947,600	27.5	1,795	5.26 ~ 10.31
182,500	1,780	180,720	40.7	1,758	5.1 ~ 10.31
1,652,400	17,400	1,635,000	97.3	2,704	9.1 ~ 10.15
1,652,400	17,400	1,635,000	97.3	2,704	9.1 ~ 10.15
1,425,400	12,400	1,413,000	85.1	2,828	6.17 ~ 10.10
5,920,800	75,900	5,844,900	59.0	1,763	5.15 ~ 10.31
5,257,850	82,130	5,175,720	77.2	2,198	5.1 ~ 10.31
+ 662,950	- 6,230	+ 669,180	- 18.2	- 435	

昭和39年度海区水系別

海区	水系	採卵場	捕獲数			使用親魚数		
			♀	♂	計	♀	♂	計
オホー ツク 海区	岩尾別	岩尾別	225 ^尾	70 ^尾	295 ^尾	220 ^尾	58 ^尾	278 ^尾
	斜里	斜里	433	208	641	307	140	447
	渚滑	渚滑	1,132	709	1,841	423	88	511
	(風烈布)	(風烈布)	5	18	23	2	2	4
	徳志別	徳志別	370	124	494	204	59	263
	幌別	北見幌別	177	206	383	157	39	196
	猿払	猿払	1,266	419	1,685	50	16	66
	計	本年度 前年度	3,606 1,273	1,754 972	5,360 2,245	1,363 855	402 260	1,765 1,115
日本 海区	天塩	中川	171	210	381	130	48	178
	尻別	名駒	484	191	675	467	141	608
	朱太	朱太	144	30	174	144	26	170
	計	本年度 前年度	799 651	431 265	1,230 916	741 527	215 155	956 682
根室 海区	標津	標津	460	77	537	455	148	603
	当幌	当幌	58	36	94	50	36	86
	春別	春別	2	1	3	2	1	3
	床丹	床丹	38	18	56	38	18	56
	西別	西別	1	1	2	1	1	2
	矢白	矢白	—	—	—	—	—	—
	風連	風連	107	44	151	95	41	136
	別当	賀別	624	252	876	613	221	834
	計	本年度 前年度	1,290 1,173	429 581	1,719 1,754	1,254 1,010	466 419	1,720 1,429
	総計	本年度 前年度	5,695 3,097	2,614 1,818	8,309 4,915	3,358 2,392	1,083 834	4,441 3,226

桜鱒親魚捕獲採卵成績表

採卵数	収容前 死卵数	収容卵数	♀親魚 使用率	平均 採卵数	実施期間
402,600 ^粒	3,000 ^粒	399,600 ^粒	98.7%	1.830 ^粒	6. 1 ~ 9. 30
536,900	4,400	532,500	70.9	1.749	6. 1 ~ 9. 16
499,000	12,000	487,000	37.4	1.180	5. 15 ~ 10. 2
7,900	400	7,500	40.0	3.950	混 獲
367,400	14,900	352,500	55.1	1.801	5. 27 ~ 10. 31
302,500	2,500	300,000	98.7	1.926	5. 26 ~ 9. 22
82,500	6,500	76,000	3.9	1.650	6. 1 ~ 9. 20
219,800	43,700	215,100	37.8	1.613	5. 15 ~ 10. 31
1,619,630	25,130	1,594,500	67.2	1.894	
214,400	2,800	211,600	76.0	1.649	6. 28 ~ 9. 30
1,262,600	12,600	1,250,000	96.5	2.704	9. 1 ~ 10. 10
389,800	4,800	385,000	100.0	2.707	9. 1 ~ 10. 15
1,866,800	20,200	1,846,600	92.7	2.519	6. 28 ~ 10. 15
1,467,400	13,180	1,454,220	81.0	2.784	
876,200	3,700	872,500	98.9	1.926	6. 1 ~ 9. 20
95,500	2,200	93,300	86.2	1.910	5. 21 ~ 10. 10
3,500	1,500	2,000	100.0	1.750	5. 21 ~ 10. 10
69,400	2,000	67,400	100.0	1.826	5. 25 ~ 10. 10
2,000	0	2,000	100.0	2.000	6. 3 ~ 10. 17
—	—	—	—	—	6. 25 ~ 8. 15
126,500	500	126,000	88.8	1.332	6. 24 ~ 9. 27
682,100	2,100	680,000	96.2	1.113	9. 6 ~ 10. 15
1,855,200	12,000	1,843,200	97.2	1.479	5. 21 ~ 10. 17
2,170,820	43,820	2,127,000	86.1	2.149	
5,920,800	75,900	5,844,900	59.0	1.763	5. 15 ~ 10. 17
5,257,850	82,130	5,175,720	77.2	2.198	

昭和39年度支、事業場別

支 場	事 業 場	捕 獲 数			使 用 親 魚 数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
北 見	幌 内	668 ^尾	680 ^尾	1,348 ^尾	609 ^尾	310 ^尾	919 ^尾
	渚 滑	728	882	1,610	287	105	392
	湧 別	226	305	531	178	49	227
	北 見	11	7	18	8	4	12
	網 走	12	17	29	9	10	19
	藻 琴	0	2	2	—	—	—
	斜 里	312	172	484	270	99	369
	岩 尾 別	846	938	1,784	846	264	1,110
	本 年 度	2,803	3,003	5,806	2,207	841	3,048
	前 年 度	15,893	15,517	31,410	14,507	4,495	19,002
根 室	羅 白	38	31	69	37	14	51
	薫 別	20	12	32	10	6	16
	伊 茶 仁	59	128	187	50	23	73
	根 室	3,764	4,629	8,393	2,813	903	3,716
	計 根 別	909	753	1,662	894	577	1,471
	虹 別	12,726	8,416	21,142	7,231	1,932	9,163
	浜 中	2,010	3,069	5,079	1,936	473	2,409
	厚 床	111	97	208	111	60	171
	本 年 度	19,637	17,135	36,772	13,082	3,988	17,070
	前 年 度	1,580	2,045	3,625	1,222	569	1,791
十 勝	釧 路	10	12	22	—	—	—
	本 年 度	10	12	22	—	—	—
	前 年 度	—	—	—	—	—	—
天 塩	徳 志 別	639	870	1,509	283	74	357
	歌 登	249	528	777	213	43	256
	屯 別	408	464	872	98	35	133
	中 川	79	155	234	48	12	60

樺太鱒親魚捕獲採卵成績表

採 卵 数	収 容 前 死 卵 数	収容卵数	♀ 親 魚 使 用 率	平 均 採 卵 数	実 施 期 間
966,300 ^粒	11,300 ^粒	955,000 ^粒	91.2%	1,587 ^粒	7. 自 11 ~ 10. 10
359,700	14,700	345,000	39.4	1,253	6. 6 ~ 10. 9
276,000	8,500	267,500	78.8	1,551	8. 11 ~ 10. 10
7,430	230	7,200	72.7	929	9. 1 ~ 10. 15
10,300	300	10,000	75.0	1,144	8. 11 ~ 10. 2
—	—	—	—	—	8. 21 ~ 9. 30
385,300	4,500	380,800	86.5	1,427	7. 1 ~ 10. 9
1,340,500	15,900	1,324,600	100.0	1,585	7. 21 ~ 10. 31
3,345,530	55,430	3,290,100	78.7	1,516	6. 6 ~ 10. 31
19,674,140	328,640	19,345,500	91.3	1,356	7. 10 ~ 11. 15
44,500	900	43,600	97.4	1,203	7. 21 ~ 9. 30
12,600	100	12,500	50.0	1,260	8. 12 ~ 10. 1
64,310	710	63,600	84.7	1,286	8. 5 ~ 10. 10
3,532,800	25,900	3,506,900	74.7	1,256	6. 1 ~ 10. 15
769,900	67,800	702,100	98.3	861	5. 21 ~ 10. 10
6,415,100	496,100	5,919,000	56.8	887	6. 3 ~ 10. 17
2,846,800	39,300	2,807,500	96.3	1,470	6. 25 ~ 8. 15
148,600	1,100	147,500	100.0	1,339	9. 6 ~ 10. 5
13,834,610	631,910	13,202,700	66.6	1,058	5. 21 ~ 10. 17
1,379,790	47,990	1,331,800	77.3	1,129	7. 1 ~ 10. 15
—	—	—	—	—	8. 21 ~ 8. 31
—	—	—	—	—	8. 21 ~ 8. 31
—	—	—	—	—	—
323,100	8,100	315,000	44.3	1,142	7. 1 ~ 10. 31
312,800	2,800	310,000	85.5	1,469	7. 11 ~ 10. 8
135,000	7,000	128,000	24.0	1,378	7. 21 ~ 10. 10
49,800	300	49,500	60.8	1,038	7. 1 ~ 9. 30

支 場	事業場	捕 獲 数			使用親魚数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
計	本 年 度	尾 1,375	尾 2,017	尾 3,392	尾 642	尾 164	尾 806
	前 年 度	1,454	2,528	3,982	1,094	283	1,377
合 計	本 年 度	23,825	22,167	45,992	15,931	4,993	20,924
	前 年 度	18,927	20,090	39,017	16,823	5,347	22,170
	前 年 対 比	+ 4,898	+2,077	+ 6,975	- 892	- 354	-1,246

採 卵 数	収 容 前 死 卵 数	収容卵数	♀ 親 魚 使 用 率	平 均 採 卵 数	実 施 期 間
粒 82,070.0	粒 18,200	粒 802,500	% 46.7	粒 1,278	自 1 ~ 至 10.31
1,170,300	23,500	1,146,800	75.2	1,070	7.11 ~ 10.31
18,000,840	705,540	17,295,300	66.9	1,130	5.21 ~ 10.31
22,224,230	400,130	21,824,100	88.9	1,321	7.1 ~ 11.15
- 4,223,390	+ 305,410	-4,528,800	- 22.0	- 191	

昭和39年度海区水系別樺

海区	水系	採卵場	捕獲数			使用親魚数		
			♀	♂	計	♀	♂	計
海区	岩尾別	岩尾別	846	938	1,784	846	264	1,110
	斜里	斜里	312	172	484	270	99	369
	藻琴	藻琴	0	2	2	—	—	—
	網走	網走	12	17	29	9	10	19
	常呂	常呂	11	7	18	8	4	12
	湧別	湧別	226	305	531	178	49	227
	渚滑	渚滑	398	597	995	197	65	262
	興部	興部	330	285	615	90	40	130
	雄武	雄武	91	108	199	70	28	98
	幌内	幌内	577	572	1,149	539	282	821
	風烈布	風烈布	154	143	297	46	9	55
	徳志別	徳志別	485	727	1,212	237	65	302
	幌別	北見幌別	249	528	777	213	43	256
	屯別	屯別	262	302	564	74	25	99
区	猿払	猿払	146	162	308	24	10	34
	計	本年度	4,099	4,865	8,964	2,801	993	3,794
日本海区	天塩	中川	79	155	234	48	12	60
	計	本年度	79	155	234	48	12	60
根室海区	サシルイ	サシルイ	13	12	25	13	2	15
	春刈古丹	春刈古丹	25	19	44	24	12	36
当春別	植別	植別	20	12	32	10	6	16
	忠類	忠類	37	106	143	28	13	41
区	(伊茶仁)	(伊茶仁)	22	22	44	22	10	32
	標津	標津	3,764	4,629	8,393	2,813	903	3,716
区	当幌	当幌	779	668	1,447	764	492	1,256
	春別	春別	37	23	60	37	23	60

太閤親魚捕獲採卵成績表

採卵数	収容前 死卵数	収容卵数	♀親魚 使用数	平均 採卵数	実施期間
粒	粒	粒	%	粒	自 至
1,340,500	15,900	1,324,600	100.0	1,585	7. 21~10. 31
385,300	4,500	380,800	86.5	1,427	7. 1~10. 9
—	—	—	—	—	8. 21~9. 30
10,300	300	10,000	75.0	1,144	8. 19~10. 2
7,430	230	7,200	72.7	929	9. 1~10. 15
27,600	8,500	26,750	78.8	1,551	8. 11~10. 10
23,450	7,500	22,700	49.5	1,190	8. 11~10. 9
125,200	7,200	118,000	27.3	1,390	6. 6~10. 7
109,200	1,700	107,500	76.9	1,560	7. 11~9. 30
857,100	9,600	847,500	93.4	1,591	8. 1~10. 10
42,500	2,500	40,000	29.9	924	7. 11~10. 10
280,600	5,600	275,000	48.9	1,184	7. 1~10. 31
312,800	2,800	310,000	85.5	1,469	7. 11~10. 8
102,500	4,500	98,000	28.2	1,385	8. 1~10. 10
32,500	2,500	30,000	16.4	1,354	7. 21~9. 20
4,116,430	73,330	4,043,100	68.3	1,470	7. 1~10. 31
20,830,840	351,940	20,478,900	90.0	1,336	
49,800	300	49,500	60.8	1,038	7. 1~9. 30
49,800	300	49,500	60.8	1,038	
13,600	200	13,400	42.9	1,133	
11,100	500	10,600	100.0	854	7. 22~9. 30
33,400	400	33,000	96.0	1,392	7. 21~9. 30
12,600	100	12,500	50.0	1,260	8. 12~10. 1
31,510	410	31,100	75.7	1,125	8. 5~10. 10
32,800	300	32,500	100.0	1,491	鮭 混 獲
3,532,800	25,900	3,506,900	74.7	1,256	6. 1~10. 15
666,000	61,800	604,200	98.1	872	5. 21~10. 10
18,500	4,500	14,000	100.0	500	5. 21~10. 10

海 区	水 系		採卵場	捕 獲 数			使 用 親 魚 数		
				♀	♂	計	♀	♂	計
根 室 海 区	床	丹	床	尾 93	尾 62	尾 155	尾 93	尾 62	尾 155
	西	別	西	12,726	8,416	21,142	7,231	1,932	9,163
	矢	白	矢	—	—	—	—	—	—
	風	選	風	2,010	3,069	5,079	1,936	473	2,409
	別	当	別	111	97	208	111	60	171
	計		本 年 度	19,637	17,135	36,772	13,082	3,988	17,070
			前 年 度	1,580	2,045	3,625	1,222	569	1,791
	釧	路	釧	10	12	22	—	—	—
	計		本 年 度	10	12	22	—	—	—
			前 年 度	—	—	—	—	—	—
標 本 以 東 海 区	總 計		本 年 度	23,825	22,167	45,992	15,931	4,993	20,924
			前 年 度	18,927	20,090	39,017	16,823	5,347	22,170

採 卵 数	収 容 前 死 卵 数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 使 用 率	平 均 採 卵 数	実 施 期 間
粒 85,400	粒 1,500	粒 83,900	% 100.0	粒 918	自 至 5. 25 ~ 10. 10
6,415,100	496,100	5,919,000	56.8	887	6. 3 ~ 10. 17
—	—	—	—	—	6. 25 ~ 8. 15
2,846,800	39,300	2,807,500	96.3	1,470	7. 21 ~ 10. 15
148,600	111,000	147,500	100.0	1,339	9. 6 ~ 10. 5
13,834,610	631,910	13,202,700	66.6	1,058	
1,379,790	47,990	1,331,800	77.3	1,129	
—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	
18,000,840	705,540	17,295,300	66.9	11,30	5. 21 ~ 10. 31
22,224,230	400,130	21,824,100	88.9	1,321	

(2) 鰻ふ化放流成績概況

本年度のふ化放流は桜島は13事業場と民間収容所1ヶ所計14ヶ所を実施した。

収容卵数は5,724,700粒、ふ出尾数は5,237,900尾ふ化率91.4%で5,089,050

で実施した。収容卵数は1,672,130粒、ふ出尾数は1,523,956尾、ふ化率91.1

昭和39年度支、事業場

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数	ふ 出 尾 数	ふ 化 率
北 見	渚 滑	487,000	86,000	401,000	82.3
	網 走	20,000	2,000	18,000	90.0
	斜 里	512,500	30,500	482,000	94.0
	岩 尾 別	399,600	9,100	390,500	97.7
	本 年 度	1,419,100	127,600	1,291,500	91.0
	前 年 度	1,455,000	86,800	1,368,200	94.0
根 室	中 標 津	872,500	53,200	819,300	93.9
	虹 別	2,000	200	1,800	90.0
	浜 中	126,000	4,100	121,900	96.7
	厚 床	680,000	14,900	665,100	97.8
	(床 丹)	162,700	5,700	157,000	96.5
	本 年 度	1,843,200	78,100	1,765,100	95.8
	前 年 度	2,127,000	118,100	2,008,900	94.4
天 塩	徳 志 別	360,000	68,400	291,600	81.0
	歌 登	300,000	35,000	265,000	88.3
	屯 別	76,000	9,200	66,800	87.8
	天 塩	211,600	66,500	145,100	68.6
	本 年 度	947,600	179,100	768,500	81.1
	前 年 度	180,720	19,720	161,000	89.1
渡 島	尻 別	1,514,800	102,000	1,412,800	93.3
	本 年 度	1,514,800	102,000	1,412,800	93.3
	前 年 度	1,354,800	80,900	1,273,900	94.0
総 計	本 年 度	5,724,700	486,800	5,237,900	91.5
	前 年 度	5,117,520	305,520	4,812,000	74.5

尾を浮上後無給餌のまま14水系に放流した。樺太島は19事業場と民間収容所1ヶ所、計20ヶ所

%で1,498,150尾を浮上後無給餌のまま20水系に放流した。

別桜島ふ化放流成績表

放 流 尾 数			放 流 期 間	備 考
無 給 餌	給 餌 後	合 計		
387,000		387,000		
17,000		17,000	1. 1 ~ 1. 31	
475,000		475,000	2. 1 ~ 2. 25	
385,000		385,000	4. 1 ~ 5. 10	
1,264,000		1,264,000	1. 1 ~ 5. 10	
1,351,000		1,351,000	1. 23 ~ 6. 10	
815,200		851,200	4. 1 ~ 4. 12	
1,750		1,750	2. 10 ~ 2. 10	
119,900		119,900	2. 15 ~ 2. 20	
663,500		663,500	4. 10 ~ 4. 30	
154,000		154,000	3. 15 ~ 3. 31	
1,754,350		1,754,350	2. 10 ~ 4. 12	
1,962,500		1,962,500	1. 25 ~ 5. 8	
262,500		262,500	1. 5 ~ 1. 30	
250,000		250,000	1. 10 ~ 1. 20	
64,500		64,500	2. 15 ~ 2. 28	
140,700		140,700	3. 1 ~ 3. 31	
717,700		717,700	1. 5 ~ 3. 31	
141,200		141,200	1. 2 ~ 3. 30	
1,353,000		1,353,000	2. 10 ~ 4. 20	北大その他へ分与した120,200粒を除く
1,353,000		1,353,000	2. 10 ~ 4. 20	
1,150,000		1,150,000	3. 1 ~ 4. 30	
5,089,050		5,089,050	1. 1 ~ 5. 10	
4,604,700		4,604,700	1. 2 ~ 6. 10	

昭和39年度支、事業場

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数	ふ 出 尾 数	ふ 化 率
北 見	幌 内	955,000	79,900	875,100	91.6
	渚 滑	345,000	56,000	289,000	83.8
	湧 別	267,500	44,200	223,300	83.5
	北 見	7,200	800	6,400	88.9
	網 走	10,000	1,000	9,000	90.0
	斜 里	380,000	20,300	360,500	94.7
	岩 尾 別	1,324,600	78,500	1,246,100	94.1
	本 年 度	3,290,100	280,700	3,009,400	91.5
根 室	前 年 度	1,869,300	1,345,700	1,734,700	92.8
	羅 臼	43,600	2,040	41,560	95.3
	薫 別	12,500	1,000	11,500	92.0
	伊 茶 仁	2,755,500	181,200	2,574,300	93.4
	中 標 津	760,000	49,300	710,700	93.5
	虹 別	5,919,000	697,800	5,221,200	88.2
	浜 中	2,288,500	85,200	2,203,300	96.3
	厚 床	147,500	10,900	136,600	92.6
天 塩	床 丹	702,100	32,100	670,000	95.4
	本 年 度	12,628,700	1,059,540	11,569,160	91.6
	前 年 度	1,331,800	72,900	1,258,900	94.5
	德 志 別	672,500	121,100	551,400	82.0
	歌 登	100,000	15,100	84,900	84.9
	屯 別	30,000	5,300	24,700	72.3
	本 年 度	802,500	141,500	661,000	82.4
	前 年 度	1,146,800	141,800	1,005,000	87.6
総 計	本 年 度	16,721,300	1,481,740	15,239,560	91.1
	前 年 度	21,171,600	1,560,400	19,611,200	92.7

別樺太鱒ふ化放流成績表

放 流 数			放 流 期 間	備 考
無 給 餌	給 餌 後	合 計		
870,000		870,000	4. 15 ~ 4. 30	
284,000		284,000	1. 7 ~ 1. 28	
220,500		220,500	3. 1 ~ 3. 31	
6,200		6,200	2. 1 ~	
8,500		8,500	2. 1 ~ 2. 28	
355,000		355,000	2. 10 ~ 3. 31	
1,214,400		1,214,400	4. 10 ~ 5. 25	
2,958,600		2,958,600	1. 7 ~ 5. 25	
16,850,700		16,850,700	1. 21 ~ 4. 30	
41,400		41,400	2. 1 ~ 2. 28	
11,000		11,000	4. 1 ~ 4. 5	
2,506,600		2,506,600	3. 1 ~ 3. 31	
707,200		707,200	4. 1 ~ 4. 12	
5,169,800		5,169,800	2. 1 ~ 3. 15	
2,185,000		2,185,000	2. 10 ~ 5. 10	
136,000		136,000	4. 10 ~ 4. 30	
655,000		655,000	3. 15 ~ 3. 31	
11,412,000		11,412,000	2. 1 ~ 5. 10	
940,100	218,400	1,158,500	1. 20 ~ 5. 8	
507,200		507,200	1. 8 ~ 2. 22	
80,500		80,500	1. 21 ~ 1. 31	
23,200		23,200	2. 15 ~ 2. 28	
610,900		610,900	1. 8 ~ 2. 28	
984,400		984,400	1. 7 ~ 3. 30	
14,981,500		14,981,500	1. 8 ~ 3. 30	
18,775,200	218,400	18,993,600	1. 7 ~ 5. 58	

昭和39年度海区水

海区	水系	事業場	収容卵数	死卵数	ふ出尾数	ふ化率 %
オホー ツク 海区	岩尾別	岩尾別	399,600	9,100	390,500	97.7
	斜里	斜里	512,500	30,500	482,000	94.0
	渚滑	渚滑	487,000	86,000	401,000	82.3
	網走	網走	20,000	2,000	18,000	90.0
	徳志別	徳志別	360,000	68,400	291,600	81.0
	幌別	歌登	300,000	35,000	265,000	88.3
	屯別	屯別	76,000	9,200	66,800	87.9
	計	本年度	2,155,100	240,200	1,914,900	88.9
		前年度	1,594,500	99,600	1,494,900	92.6
日本海区	天塩	天塩	211,600	66,500	145,100	68.6
	尻別	尻別	1,514,800	102,000	1,412,800	93.3
	計	本年度	1,726,400	168,500	1,557,900	90.2
		前年度	1,396,020	87,820	1,308,200	88.6
根室海区	標津	中標津	872,500	53,200	819,300	93.9
	西別	虹別	2,000	200	1,800	90.0
	風連	浜中	126,000	4,100	121,900	96.7
	別当	厚床	680,000	14,900	665,100	97.8
	床丹	(床丹)	162,700	5,700	157,000	96.5
	計	本年度	1,843,200	78,100	1,765,100	95.8
		前年度	2,127,000	118,100	2,008,900	94.4
	総計	本年度	5,724,700	486,800	5,237,900	91.5
		前年度	5,117,520	305,520	4,812,000	94.0
⑤ 試験卵 尻別			4,200粒 52,500 10,500 53,000 計 120,200	北大水産学部 道立ふ化場 淡水研日光支所 滋賀県		

系別桜鱒放流成績表

放流尾数			放流期間	備考
無給餌	給餌後	合計		
385,000		385,000	4. 1 ~ 5. 10	
475,000		475,000	2. 1 ~ 2. 25	
387,000		387,000	1. 20 ~ 1. 30	
17,000		17,000	1. 1 ~ 1. 31	
262,500		262,500	1. 5 ~ 1. 30	
250,000		250,000	1. 10 ~ 1. 20	
64,500		64,500	2. 15 ~ 2. 28	
1,841,000		1,841,000	1. 1 ~ 5. 10	
1,475,200		1,475,200	1. 2 ~ 6. 10	
140,700		140,700	4. 1 ~ 5. 10	
1,353,000		1,353,000	3. 1 ~ 4. 20	
1,493,700		1,493,700	3. 1 ~ 5. 10	
1,167,000		1,167,000	3. 1 ~ 4. 30	
815,200		815,200	4. 1 ~ 4. 12	
1,750		1,750	2. 10 ~ 2. 10	
119,900		119,900	2. 15 ~ 2. 20	
663,500		663,500	4. 10 ~ 4. 30	
154,000		154,000	3. 15 ~ 3. 31	
1,754,350		1,754,350	2. 15 ~ 4. 30	
1,962,500		1,962,500	1. 25 ~ 5. 8	
5,089,050		5,089,050	1. 1 ~ 5. 10	
4,604,700		4,604,700	1. 2 ~ 6. 10	
			~	

昭和 3 9 年度海区水系別

海区	水系	事業場	収容卵数	死卵数	ふ化尾数	ふ化率
オホ ホ ー ッ ク 海 区	岩尾別	岩尾別	1,324,600	78,500	1,246,100	94.1
	斜里	斜里	380,800	20,300	360,500	94.7
	藻琴	藻琴	—	—	—	—
	網走	網走	10,000	1,000	9,000	90.0
	常呂	北見	7,200	800	6,400	88.9
	湧別	湧別	267,500	44,200	223,300	83.5
	渚滑	渚滑	345,000	56,000	289,000	83.8
	幌内	幌内	955,000	79,900	875,100	91.6
	徳志別	徳志別	672,500	121,100	551,400	82.0
	幌歌	登	100,000	15,100	84,900	84.9
	屯別	屯別	30,000	5,300	24,700	82.3
	海区計	本年度	4,092,600	422,200	3,670,400	89.7
		前年度	19,826,400	1,485,000	18,341,400	92.6
	日本海区	塩田	—	—	—	—
根 室 海 区	羅薫別	羅薫別	43,600	2,040	41,560	95.3
	伊茶仁	伊茶仁	12,500	1,000	11,500	92.0
	標津	標津	2,755,500	181,200	2,574,300	93.4
	西風	中標	760,000	49,300	710,700	93.5
	別当	別当	5,919,000	697,800	5,221,200	88.2
	海床	浜中	2,288,500	85,200	2,203,300	96.3
		厚床	147,500	10,900	136,600	92.6
		(床丹)	702,100	32,100	670,000	95.4
	海区計	本年度	12,628,700	1,059,540	11,569,160	91.6
		前年度	1,331,800	72,900	1,258,900	94.5
	総計	本年度	16,721,300	1,481,740	15,239,560	91.1
		前年度	21,171,600	1,560,400	19,611,200	92.7

⑤ 試験卵 伊茶仁 55,000 粒 } 新潟、山形県
 浜中 519,000
 計 574,000

樺太鱒ふ化放流成績表

放 流 尾 数			放 流 期 間	備 考
無 給 餌	給 餌 後	合 計		
1,214,400		1,214,400	4. 10 ~ 5. 25	
355,000		355,000	2. 10 ~ 3. 31	
—		—	—	
8,500		8,500	2. 1 ~ 2. 28	
6,200		6,200	2. 1 ~	
220,500		220,500	3. 1 ~ 3. 31	
284,000		284,000	1. 7 ~ 1. 28	
870,000		870,000	4. 15 ~ 4. 30	
507,200		507,200	1. 8 ~ 2. 22	
80,500		80,500	1. 21 ~ 1. 31	
23,200		23,200	2. 15 ~ 2. 28	
3,569,500		3,569,500	1. 7 ~ 5. 25	
17,825,600		17,825,600	1. 7 ~ 4. 30	
—		—	—	
—		—	—	
9,500		9,500	3. 1 ~ 3. 30	
41,400		41,400	2. 1 ~ 2. 28	
11,000		11,000	4. 1 ~ 4. 5	
2,506,600		2,506,600	3. 1 ~ 3. 31	
707,200		707,200	4. 1 ~ 4. 12	
5,169,800		5,169,800	2. 1 ~ 3. 15	
2,185,000		2,185,000	2. 10 ~ 5. 10	
136,000		136,000	4. 10 ~ 4. 30	
655,000		655,000	3. 15 ~ 3. 31	
11,412,000		11,412,000	2. 1 ~ 5. 10	
940,100	218,400	1,158,500	1. 20 ~ 5. 8	
14,981,500		14,981,500	1. 8 ~ 3. 30	
18,775,200	218,400	18,993,600	1. 7 ~ 5. 8	

7 姫鱒増殖事業

(1) 捕獲採卵

本年度支笏湖における姫鱒捕獲事業は10月6日開始、11月30日に終了した。その結果捕獲数達成率57.1%の成績で終了した。

昭和39年度姫鱒

水系	採卵場	捕獲数			使用親魚数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
支笏湖	支笏湖	7,334 尾	6,106 尾	13,440 尾	6,762 尾	1,702 尾	8,464 尾
	本年度	7,334	6,106	13,440	6,762	1,702	8,464
	前年度	15,052	21,954	37,006	14,415	3,794	18,209
	前年対比	-7,718	-15,848	-23,566	-7,653	-2,092	-9,745

(2) ふ化放流

支笏湖における姫鱒資源量を調べるため38年度から稚魚の放流数を一定(約100万尾)とし、それ以上の収容卵1,030,000粒については全国

昭和39年度姫鱒

年度	収容卵数	死卵数	ふ出数
本年度	1,534,000 粒	215,100 粒	1,318,900 尾
前年度	2,020,700	718,000	1,302,700
比較増減	-486,700	-502,900	+16,200

8 鮭鱒親魚蓄養成績

本年度鮭鱒親魚の蓄養を行なった採卵場は岩尾別外73ヶ所で鮭については♀捕獲数204,を採卵に供した。

桜鱒については♀捕獲数5,695尾のうち4,037尾を蓄養し、3005尾を採卵に供した。

樺太鱒については♀捕獲数2,3825尾のうち18,548尾を蓄養し、15,686尾を採卵に

獲数においては13,440尾で計画達成率71.3%、採卵数においては2,853,200粒で計画

捕獲採卵成績表

採卵数	収容前 死卵数	収容卵数	♀親魚 使用率	平均 採卵数	実施期間
2,853,200 粒	2,900 粒	2,850,300 粒	92.2 %	422 粒	自 10 6 至 11 30
2,853,200	2,900	2,850,300	92.2	422	10 6 ~ 11 30
5,508,900	6,800	5,210,700	95.8	382	
-2,655,700	-3,900	2,360,400	-13.6	+40	

ているため本年度においても1,160,000尾の稚魚を4月22日、23日の2日間に同湖に放

ふ化放流成績表

ふ出率	放流数	放流期間	備 考
85.9 %	1,160,000 尾	4 22 ~ 4 23	
64.5	1,150,000	4 5 ~ 6 16	
+ 21.4	+ 10,000		

714尾中162,185尾(要蓄養数の96.1%)を蓄養し、130,908尾(催熟率80.7%)

供した。

昭和39年度鮭

項 目 採 卵 場	捕獲數			即日 使用 ♀	使 用 率	試 驗 控 除	老 魚	♀			蓄	
	♀	♂	計					要蓄養數	蓄養數	率	蓄養	
											♀	♂
岩尾別	67	116	183	51	76.1			16	16	100.0	16	24
斜里	5061	4292	9353	0	—			5061	5061	100.0	5061	3766
藻琴	103	111	214	15	14.6			88	88	100.0	88	92
網走	4,239	3862	8101	0	—			4239	4152	97.9	4152	1178
西網走	405	315	720	0	—			405	405	100.0	405	315
常呂	4825	5315	10140	24	0.5	15		4786	4783	99.6	4783	1560
湧別	4626	4706	9332	0	—			4626	4557	98.5	4557	2112
滑川	2249	2766	5015	0	—			2249	2246	99.9	2246	1187
幌内	520	422	942	0	—			520	520	100.0	520	267
興部	29	36	65	0	—			29	27	93.1	27	14
合計	22124	21941	44065	90	0.4	15		22019	21855	99.2	21855	10515
ルサ	10	17	27	0	—			10	10	100.0	10	6
羅臼	7349	8942	16291	6894	93.8			455	0	0	0	0
春刈古丹	63	41	104	0	—			63	63	100.0	63	41
植別	388	213	601	67	17.3			321	321	100.0	321	166
元崎無異	4	4	8	2	50.0			2	2	100.0	2	3
崎無異	171	119	290	28	16.4			143	143	100.0	143	100
藻別	1460	1280	2740	298	12.1			1162	1126	96.9	1126	888
古多糠	28	30	58	0	—	1		27	27	100.0	27	26
忠類	10	15	25	0	—			10	10	100.0	10	15
伊茶仁	235	295	530	7	3.0			228	228	100.0	228	235
標津	7417	8581	15998	170	22.9			7247	7209	88.5	7209	4830
当幌	2996	3481	6477	0	—			2996	2996	100.0	2996	1569
春別	97	48	145	0	—			97	97	100.0	97	48
床丹	611	287	898	0	—			611	611	100.0	611	287
西別	51968	78404	130372	21313	41.0			30655	27176	88.7	27176	11163
風蓮	1520	1680	3200	0	—			1520	1520	100.0	1520	665
別当賀	1943	1952	3895	82	4.2			1861	1856	99.7	1856	1088

~64~

親魚蓄養成績表

養 内					記					蓄養前斃死	♀ 総使用数	使用率	
数					逃 逸	老 魚	調 査	未 熟	成熟不能				
計	催 熟	率	斃 死	率									
40	16	100.0	0	—	169	101	12	125	87	87	67	100.0	
8827	4,780	94.4	281	5.6							4780	94.4	
180	88	100.0	0	—							103	100.0	
5,330	4,010	96.6	55	1.3							4,010	94.6	
720	405	100.0	0	—							405	100.0	
6,343	4,132	86.2	646	1.4							3	4,156	86.1
6669	4,167	91.4	254	5.6							69	4,167	90.1
3,433	1,953	87.0	114	5.1							3	1,953	86.8
787	520	100.0	0	—							520	100.0	
41	26	96.3	1	3.70							2	26	89.7
32,370	20,097	91.9	1,351	61.8	169	101	12	125	164	20,187	91.3		
16	9	90.0	0	—	5	5	5	1	3	36	9	90.0	
0	0	0	0	0							455	6,894	93.8
104	63	100.0	0	—							63	100.0	
487	317	98.8	0	—							384	99.0	
5	2	100.0	0	—							4	100.0	
243	142	99.3	1	0.7							170	99.4	
2,014	1,126	100.0	0	—							1,424	97.5	
53	22	78.6	0	—							22	78.6	
25	9	90.0	1	10.0							9	90.0	
463	226	99.1	2	0.9							233	99.1	
12039	7,161	99.3	43	0.6	38	7,331	98.8						
4565	2985	99.6	11	0.4	2985	99.6							
145	97	100.0	0	—	97	100.0							
898	611	100.0	0	—	611	100.0							
38,339	25,628	94.3	1,548	57.0	21	5	5	5	5	3479	46,941	90.3	
2,185	1,436	94.5	63	41.4						1,436	94.5		
2,944	1,844	99.4	12	0.7						1,926	99.1		

~65~

項 採 目 場	捕獲数			即日 使用 ♀	使 用 率	試 驗 控 除	老 魚	♀			蓄養	
	♀	♂	計					要蓄数	蓄養数	率	♀	♂
合計	76,270	105,389	181,659	288.61	37.3		1	47,408	43,395		43,395	21,130
別寒辺牛	1,120	825	1,945	332	29.6			788	786	99.7	786	556
釧路	21,033	30,119	51,152	0	—			21,033	20,933	99.5	20,933	9,239
阿寒	270	418	688	0	—			270	269	99.6	269	50
庶路	2	2	4	0	—			2	2	100.0	2	2
茶路	422	428	850	2	0.47			420	416	99.0	416	160
音別	53	46	99	0	—			53	53	100.0	53	46
打内	47,256	161,731	208,987	0	—			47,256	46,414	98.2	46,414	17,517
東33号	4,333	12,429	16,762	0	—			4,333	4,223	97.5	4,223	348
幕別	3,002	6,516	9,518	1,589	52.9			1,413	1,408	99.6	1,408	1,135
千代田	13,969	30,565	44,534	0	—	8		13,961	13,961	100.0	13,961	4,210
東15号	169	112	281	160	94.7		6	3	3	100.0	3	3
利別	6	27	33	0	—			6	6	100.0	6	0
歴舟	394	361	755	373	94.7			21	12	57.1	12	5
合計	92,029	243,579	335,608	2,456	27	8	6	89,559	88,486	98.8	88,486	33,271
徳志別	66	42	108	0	—			66	63	100.0	63	24
北見幌別	2,064	2,505	4,569	0	—			2,064	2,060	99.8	2,060	542
頓別	300	479	779	0	—			300	280	93.3	280	146
天塩	1,221	1,653	2,874	0	—			1,221	953	78.1	953	189
中川	1,229	1,254	2,483	2	0.2			1,227	1,192	97.1	1,192	183
合計	4,880	59,333	108,113	2	0.04			4,878	4,548	93.3	4,548	1,084
石狩	577	1,539	2,116	0	—			577	245	42.5	245	0
音江	644	851	1,495	0	—			644	616	95.7	616	181
西越	846	666	1,512	160	18.9			686	681	99.3	681	469
勇払	253	276	529	97	38.3			156	150	96.2	150	169
富川	7	2	9	0	—			7	7	100.0	7	2
平取	225	377	602	2	8.9			223	150	67.3	150	105
敷生	61	104	165	29	47.5			32	32	100.0	32	10

~66~

養 内					記					蓄養前斃死	♀ 総使用数	使 用 率
数	♀				逃 逸	老 魚	調 査	未 熟	成熟不能			
計	催 熟	率	斃 死	率								
64525	41,678	96.1	1,681	39	21	6		5	4	4,013	70539	925
1,342	782	995	0	—				4		2	1,114	995
30,172	15475	739	5,285	252				173		100	15,475	736
319	146	542	43	16.0	72	8				1	146	541
4	2	1000	0	—							2	1000
576	393	945	22	5.29		1				4	395	936
99	46	868	7	13.2							46	868
63931	30440	656	12,983	280				2991		842	30440	644
4,571	2019	47.8	2204	52.2						110	2019	466
2543	1293	91.8	35	2.5	80					5	2,882	960
18171	10992	78.7	2398	17.2	446			111	14		10,992	787
6	3	1000	0	—							163	964
6	0	—	6	100.0							0	—
17	8	66.7	4	33.3						9	381	96.7
121757	61599	696	22987	26.0	598	9		3,279	14	1,073	64,055	696
87	62	984	1	1.6						3	62	93.9
2,602	1,885	915	136	6.6		24		15		4	1,885	91.3
426	264	943	14	5.0		2				20	264	88.0
1,142	768	80.6	185	19.4						268	768	62.9
1,375	1,102	924	90	7.6						35	1,104	89.8
5,632	4,081	89.7	426	9.4		26		15		330	4,083	83.7
245	75	30.6	163	66.5					7	332	75	13.0
797	566	919	50	8.1						28	566	87.9
1,150	680	99.9	1	0.2						5	840	99.3
319	135	90.0	10	6.7			5			6	232	91.7
9	3	42.9	1	14.3				3			3	42.9
255	54	36.0	27	18.0					69	73	56	24.9
42	29	90.2	0	—					3		58	95.1

~17~

採卵場	項目	捕獲数			即日使用♀	使用率	試験控除	老魚	♀			蓄養	
		♀	♂	計					要養数	蓄養数	率	蓄養	
												♀	♂
梶別		0	85	85	0	—			0	0	—	0	0
元浦川		144	491	635	15	10.4		22	107	63	58.9	63	40
梶舞		0	4	4	0	—			0	0	—	0	4
三石		54	57	111	19	35.2			35	31	88.6	31	44
静内		700	961	1,661	50	7.1			650	650	100.0	650	305
新冠		102	122	224	11	10.8			91	91	100.0	91	115
鷺川		239	292	531	14	58.6			225	168	74.7	168	220
白老		154	256	410	136	68.3			18	18	100.0	18	6
合計		4,006	6,083	10,089	533	13.3		22	3,451	2,902	88.6	2,902	1,670
名駒		6	14	20	3	50.0			3	3	100.0	3	9
朱太		71	70	141	0	—			71	71	100.0	71	70
冷水		406	391	799	120	29.4			288	288	100.0	288	246
厚沢部		240	265	505	30	1.25			210	210	100.0	210	224
長万部		23	41	64	0	—			23	11	47.8	11	6
遊楽部		368	203	571	123	39.7			245	224	90.7	224	109
茂辺地		3,991	3,519	7,510	3,410	85.4			581	171	29.4	171	67
知内		97	121	218	59	60.8			38	16	42.1	16	20
有川		3	15	18	0	—			3	1	33.3	1	1
亀川		198	151	349	175	88.4			23	4	17.4	4	4
合計		5,405	4,790	10,195	3,920	72.5			1,485	999	67.2	999	756
総計		204,714	387,715	592,429	358,62	17.5	23	29	16,880	162,185	96.1	162,185	68,426

養 内					訳					蓄養前 斃死	♀総 使用数	使 用 率
数	♀				逃 逸	老 魚	調 査	未 熟	成熟不 能			
計	催 熟	率	斃 死	率								
—	0	—	0	—	16	2	5	3	103	44	0	—
103	41	65.1	14	22.2							56	38.9
4	0	—	0	—							0	—
75	29	93.5	2	6.5							48	88.9
955	608	93.5	10	1.5							658	94.0
206	80	87.9	9	9.9							91	89.2
388	150	89.3	18	10.7							164	68.6
24	11	61.1	0	—							147	95.5
4,572	2,461	84.8	305	10.5	23	2	5	3	103	549	2,994	74.7
12	3	100.0	0	—	1	1	17	3,427	121	6615	6	100.0
141	71	100.0	0	—							71	100.0
534	283	98.3	5	0.17							403	98.8
434	210	100.0	0	—							240	100.0
17	11	100.0	0	—							11	47.8
333	223	99.6	0	—							346	94.0
238	171	100.0	0	—							3,581	89.7
36	16	100.0	0	—							75	77.3
2	0	—	1	100.0							0	—
8	4	100.0	0	—							179	90.4
1,755	992	99.3	6	60							4,912	90.8
230,611	130,908	80.7	26,756	16.5							811	145

昭和39年度桜鱒

採 取 場	捕 獲 数			即 日 使 用 数	使 用 率	試 験 控 除	老 魚	♀			蓄 養	
	♀	♂	計					要 蓄 数	蓄 養 数	率	蓄 養	
											♀	♂
岩 尾 別	223	70	293	0	—			223	223	100.0	223	58
斜 里	433	208	641	0	—			433	433	100.0	433	208
渚 滑	1,132	709	1,841	0	—			1,132	1,048	92.6	1,048	223
合 計	1,788	987	2,775	0	—			1,788	1,704	95.3	1,704	489
標 津	460	77	537	0	—			460	458	99.6	458	77
当 幌	58	36	94	0	—			58	58	100.0	58	36
春 別	2	1	3	0	—			2	2	100.0	2	1
床 丹	38	18	56	0	—			38	38	100.0	38	18
西 別	1	1	2	1	100.0			0	0	—	0	0
風 蓮	107	44	151	0	—			107	107	100.0	107	44
別 当 賀	624	252	876	15	24.0			609	609	100.0	609	252
合 計	1,290	429	1,719	16	1.2			1,274	1,272	99.8	1,272	428
風 烈 布	5	18	23	2	40.0			3	3	100.0	3	0
徳 志 別	370	124	494	2	54			368	355	96.5	355	72
北見幌別	177	206	383	0	—			177	174	98.3	174	41
猿 払	1,266	419	1,685	0	—			1,266	81	6.4	81	42
中 川	171	210	381	1	0.6			170	169	99.4	169	108
合 計	1,989	977	2,966	5	0.3			1,984	782	39.4	782	263
名 駒	484	191	675	332	68.6			152	135	88.8	135	52
朱 太	144	30	174	0	—			144	144	100.0	144	30
合 計	628	221	849	332	52.9			296	279	94.3	279	82
総 計	5,695	2,614	8,309	353	6.2			5,342	4,037	75.6	4,037	1,262

親魚蓄養成績表

養		内			訳					蓄養前斃死	♀総使用数	使用率		
数	♀				逃 逸	老 魚	調 査	未 熟	成熟不能					
計	催 熟	率	斃 死	率										
281	220	98.7	3	1.3						2	220	98.7		
641	307	70.9	123	28.4							3	307	70.9	
1,271	423	40.4	624	59.5							1	84	423	37.4
2,193	950	55.8	750	44.0							4	84	950	53.1
535	455	99.3	3	0.7			7			2	455	98.9		
94	50	86.2	1	1.7							50	86.2		
3	2	100.0	0	—							2	100.0		
56	38	100.0	0	—							38	100.0		
—	0	—	0	—							1	100.0		
151	95	88.8	12	11.2							95	88.8		
861	598	98.2	11	18.1							613	98.2		
1,700	1,238	97.3	27	2.1							2	1,254	97.2	
3	0	—	0	—	3					13	2	40.0		
427	202	56.9	153	43.1	204						55.1			
215	157	90.2	17	9.8	3						157	88.7		
123	50	61.7	31	38.3	1,185						50	3.95		
277	129	76.3	40	23.7	1						130	76.0		
1,045	538	68.8	241	30.8	3						1,202	27.3		
187	135	100.0	0	—						17	467	96.5		
174	144	100.0	0	—							144	100.0		
361	279	100.0	0	—							17	611	97.3	
5299	3,005	74.4	1,018	25.2							3	7	4	1,305

昭和39年度樺太

項目 採 場	捕獲数			即日 使用 数	使 用 率	試 驗 控 除	老 魚	♀			蓄		
								蓄 養					
	♀	♂	計					要蓄数	蓄養数	率	♀	♂	
岩尾別	846	958	1,784	2	0.24			844	844	100.0	844	262	
斜里	312	172	484	0	—			312	284	91.0	284	101	
藻琴	0	2	2	0	—			0	0	—	0	0	
網走	12	17	29	0	—			12	12	100.0	12	11	
常呂	11	7	18	0	—			11	11	100.0	11	4	
湧別	226	305	531	0	—			226	211	93.4	211	49	
渚滑	398	597	995	0	—			398	396	99.5	396	70	
興部	330	285	615	0	—			330	123	37.2	123	53	
幌内	577	572	1,149	0	—			577	553	95.8	553	311	
雄武	91	108	199	0	—			91	70	76.9	70	28	
合計	2,803	3,003	5,806	2	0.07			2,801	2,504	89.4	2,504	889	
サシルイ	13	12	25	0	—			13	13	100.0	13	7	
春刈古丹	25	19	44	0	—			25	25	100.0	25	12	
植別	20	12	32	0	—			20	20	100.0	20	12	
忠類	37	106	143	0	—			37	31	83.8	31	73	
伊茶仁	22	22	44	0	—			22	22	100.0	22	22	
標津	3,764	4,629	8,393	14	0.4			3,750	3,625	96.7	3,625	1,824	
春別	37	23	60	0	—			37	37	100.0	37	23	
当幌	779	668	1,447	0	—			779	779	100.0	779	498	
床丹	93	62	155	0	—			93	93	100.0	93	62	
西別	12,726	8,416	21,142	219	1.7			12,507	8,192	65.5	8,192	2,541	
風蓮	2,010	3,069	5,079	0	—			2,010	2,010	100.0	2,010	629	
別当賀	111	97	208	0	—			111	111	100.0	111	88	
合計	19,637	17,135	36,772	233	1.2			19,404	14,958	77.1	14,958	5,791	
釧路	10	12	22	0	—			10	8	80.0	8	0	
合計	10	12	22	0	—			10	8	80.0	8	0	

~72~

鱒親魚蓄養成績表

養 内					訳					蓄養前斃死	♀総使用数	使用率
数	♀				逃	老	調	未	成熟不能			
計	催熟	率	斃死	率	逸	魚	査	熟				
1,106	844	100.0	0	—							846	100.0
385	270	95.0	10	3.5		1	3			28	270	86.5
—	0	—	0	—							0	—
23	9	75.0	3	25.0							9	75.0
15	8	72.7	3	27.3							8	72.7
260	178	84.4	29	13.7		4				15	178	78.8
466	197	49.7	19.7	49.7			2			2	197	49.5
176	90	73.2	20	16.3		13				20.7	90	27.3
864	539	97.5	9	1.6				5		24	539	93.4
98	70	100.0	0	—							70	76.9
3,393	2,205	88.1	27.1	10.8		18	5	5		27.6	2,207	78.7
20	13	100.0	0	—							13	100.0
37	24	96.0	1	4.0							24	96.0
32	10	50.0	6	30.0		4					10	50.0
104	28	90.3	3	9.68						6	28	75.7
44	22	100.0	0	—							22	100.0
544.9	2,799	77.2	82.5	22.7					1	123	2,813	74.7
60	37	100.0	0	—							37	100.0
1,277	764	98.1	15	1.9							764	98.1
155	93	100.0	0	—							93	100.0
107.33	7,012	85.6	1,173	14.3	7					4,325	7,231	56.8
26.39	1,936	96.3	74	3.7							1,936	96.3
199	111	100.0	0	—							111	100.0
20,749	12,849	85.9	2,097	14.0	7	4			1	4,454	13,082	66.6
8	0	—	0	—	8						0	—
8	0	—	0	—	8						0	—

~73~

項 採 卵 場	捕獲数			即日 使用 数	使用 率	試驗 控除	老 魚	♀			蓄	
	♀	♂	計					要蓄数	蓄養数	率	蓄養	
											♀	♂
風烈別	154	143	297	0	—			153	89	58.2	89	24
徳志別	485	727	1,212	0	—			485	482	99.4	482	128
北見幌別	249	528	777	0	—			249	235	94.4	235	49
頓別	262	302	564	0	—			262	179	68.3	179	104
猿払	146	162	308	0	—			146	24	16.4	24	10
中川	79	155	234	10	12.6			69	69	100.0	69	39
合計	1,375	2,017	3,392	10	0.3			1,364	1,078	79.0	1,078	354
総計	23,825	22,167	45,992	245	1.0			23,579	18,548	78.7	18,548	7,034

養 内 訳					逃 逸	老 魚	調 査	未 熟	成 熟 不 能	蓄 養 前 斃 死	♀ 総 使 用 数	使 用 率
数	♀											
計	催 熟	率	斃 死	率								
113	46	51.7	4	44.9	39					65	46	29.9
610	237	49.2	210	43.6					35	3	237	48.9
284	213	90.6	22	8.4						14	213	85.5
283	74	41.3	105	58.7						83	74	28.2
34	24	100.0	0	—						122	24	16.4
108	38	55.1	30	43.5			1				48	60.8
1,432	632	58.6	371	34.4	39		1		35	287	642	46.7
25582	15,686	84.6	2739	14.8	54	22	6	5	36	5,017	15,931	66.9

9. 蛙 鱒 種 卵 の 移 殖

本年度は襟裳以東海区のみが収容設備をオーバーする採卵量を挙げたため、この海区から他海区
桜鱒については尻別事業場から道立ふ化場、滋賀県に105,500粒を移植した。
樟太鱒については根室海区から山形、新潟県に55,170粒を移植した。
姫鱒については全国の湖沼に1,030,000粒の発眼卵を移植した。

へ鱒卵27,519,500粒の移植を行った。

付)

(管外移殖)

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	收容卵数	收容卵率	備考
3.9, 10, 31	打内	網走	3,477,000	399,000	3,078,000	11.5 受精直後卵
11. 9	"	"	1,501,500	267,500	1,234,000	17.8 "
"	千代田	"	126,000	10,200	115,800	8.1 "
12. 8	十勝	"	1,590,000	90,000	1,500,000	5.7 発眼卵
12	"	湧別	5,300,000	300,000	5,000,000	5.7 "
24	"	網走	530,000	30,000	500,000	5.7 "
23	網走	十勝	3,140,000	140,000	3,000,000	4.5 "
40. 1. 8	根室	湧別	4,347,500	291,400	4,056,100	6.7 "
14	"	網走	1,127,500	74,600	1,052,900	6.6 "
"	伊茶仁	"	1,550,000	83,300	1,466,700	5.4 "
		管外計	22,689,500	1,686,000	21,003,500	7.4

(管外移植)

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	收容卵数	收容卵率	備考	
40. 1. 8	根 室	湧 別	434,500	291,400	405,100	67	発 眼 卵
14	"	網 走	1,127,500	74,600	1,052,900	66	"
"	"	"	1,550,000	83,300	1,466,700	54	"
18	虹 別	知 内	1,073,200	73,200	1,000,000	68	"
20	"	遊 楽 部	1,050,000	50,000	1,000,000	48	"
			9,148,200	572,500	8,575,700	63	

(管外移殖)

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	收容卵数	收容卵数	收容卵率	備考
3.9.10.30	打内	中川	1845000	184500	1,660500	100	受精直後卵
"	"	"	715000	95500	619500	134	"

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	收容卵数	收容卵率	備考
		管内計	2,200,000	52800	2447,200	25

天塩支場管内（管内移殖）

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	受精卵数	收容卵数	收容卵率	備考
3.11.2	歌登	徳志別	1,136,000	852,000	1,050,800	7.5	受精直後卵
6	"	"	832,000	83,200	748,800	10.0	"
10	"	"	320,000	20,000	300,000	6.3	"
		管内計	2,288,000	1,884,000	2,099,600	8.2	

千歳支場管内（管内移殖）

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収前卵数	収容卵数	収前卵率	備考
39.11.18	富川	静内	7,900	400	7,500	5.1	受精直後卵
		計	7,900	400	7,500	5.1	
10.1.3	平取	静内	30,500	500	30,000	16	受精直後卵
21	"	"	18,500	3,500	15,000	189	"
28	"	"	19,500	2,000	17,500	103	"

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	受精卵数	收容卵数	收容卵率	備考
3.9.10.30	打内	頓別	2,700,000	270,000	2,430,000	10.0	受精直後卵
3.1	"	網走	3,477,000	399,000	3,078,000	11.5	"
1.1.3	"	中川	660,000	65,000	595,000	9.8	"
"	"	"	3,090,000	128,700	2,961,300	4.2	"
"	千代田	天塩	1815,000	74,000	1,741,000	4.1	"
1.1.7	打内	静内	1,100,000	150,000	950,000	13.6	"
"	"	"	2,000,000	250,000	1,750,000	12.5	"
"	"	敷生	2,125,000	505,000	1,620,000	23.8	"
1.1.9	"	網走	850,000	151,000	699,000	17.8	"
"	"	"	651,500	116,500	535,000	17.9	"
"	千代田	"	126,000	10,200	115,800	8.1	"
1.1.16	打内	千歳	3,225,000	477,300	2,747,700	14.8	"
1.2.23	網走	十勝	3,140,000	140,000	3,000,000	4.5	発眼卵
		管外計	27,519,500	3,016,700	24,502,800	11.0	

(管外移殖)

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	受精卵数	收容卵数	受精率	備考
3.9.10.30	打内	中川	2560,000	280,000	2,280,000	109	受精直後卵
"	"	頓別	2700,000	270,000	2,430,000	100	"
11. 3	"	中川	3750,000	193700	3,556,300	50	"
"	千代田	天塩	1815,000	74,000	1,741,000	4.1	"
		管外計	10,825,000	817700	10,007,300	7.6	

(管外移殖)

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	收容卵数	收容卵数	收容卵率	備	考
3.9.11.7	打内	静内	3,100,000	400,000	2700,000	129	受精直後卵	
"	"	敷生	2,125,000	505,000	1,620,000	238	"	
11.1.6	"	千歳	3,225,000	477,300	2747,700	148	"	
40.1.9	千歳	淡水研日光所	10,000	—	—		発眼卵	
13	"	岡山県水試	5,000	—	—		"	

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	收容卵数	收容卵数	收容卵率	備考
3.9.11.2	平取	静内	13,200	700	12,500	530	受精直後卵
9	"	"	18,200	700	17,500	383	"
		計	99,900	7,400	92,500	7.41	"
4.0.1.8	静内	豊浦	1,000,000	—	1,000,000	0	発眼卵
		管内計	1,107,800	7,800	1,100,000	0.7	

渡島支場管内（管内移植）

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	収容卵数	収容率	備考

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	收容卵数	收容率	備考

（管外移植）

移植月日	供給地	受給地	移植卵数	收容卵数	收容率	備考	
4.0.1.8	虹別	知内	1,073,200	103,200	970,000	96	知内川埋没発眼卵
1.2.0	"	八雲	1,050,000	55,000	995,000	52	発眼卵
		管外計	2,123,200	158,200	1,965,000	75	

(さく

らます)

北見支場管内 (管内移殖)

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容卵数	収容卵率	備考
39. 8.20	斜里	網走	20,300	300	20,000	15
			20,300	300	20,000	15

(管外移殖)

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容卵数	収容卵率	備考

渡島支場管内 (管内移殖)

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容卵数	収容卵率	備考

(管外移殖)

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容卵数	収容卵率	備考
39.11.16	名駒	道立小産化場	52,500	—	52,500	0 発眼卵
25	"	滋賀県知摩	53,000	—	53,000	0 "
			105,500	—	105,500	0

(からふ

とます)

根室支場管内 (管内移殖)

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容前死卵数	収容卵数	収容前死卵率	備	考

(管外移殖)

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容前死卵数	収容卵数	収容前死卵率	備	考
3.9.12.5	根室	山形県	250800	800	250000	0.3	発眼卵	
"	"	新潟県	250900	900	250000	0.4	"	
"	"	岩手県	50000	0	50000	0	"	
			551700	1700	550000	0.3		

天塩支場管内 (管内移殖)

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容前死卵数	収容卵数	収容前死卵率	備	考
3.9.10.20	天塩	徳志別	49500	0	49500	0	発眼卵	
28	歌登	"	210000	0	210000	0	"	
11.4	頓別	"	98000	0	98000	0	"	
		管内計	357500	0	357500	0		

移殖月日	供給地	受給地	移殖卵数	収容前死卵数	収容卵数	収容前死卵率	備	考

(ひ め ま す)

10、鮭 稚 魚 飼 育 事 業

供 給 場 名	受 給 者	移 殖 卵 数	備 考
千 歳 支 場	神奈川県淡水魚増殖場	50,000	芦 の 湖
"	十和田湖増殖漁協	200,000	十 和 田 湖
"	山梨県水産指導所	80,000	西 湖 本 栖 湖
"	虎 杖 浜 漁 協	100,000	俱 多 楽 湖
"	福 島 県 水 産 課	100,000	檜 原 湖
"	" 沼 沢 沼 漁 協	100,000	沼 沢 沼
"	長野県青木湖漁協	100,000	青 木 湖
"	洞 爺 湖 漁 協	100,000	洞 爺 湖
"	北海道立水産ふ化場	200,000	糖 平 湖 桂 沢 湖
合 計		1,030,000	

本年は飼育事業の第3年目に当り、年々その要領及給餌体制は確立の方向に進んでいるが、まだ給餌管理の具体的な方法論には幾多の問題を持つている。これらは部分的には事業実施の段階で各場の条件に応じて逐時改善されつつあるが、池の構造、飼育水温、稚魚の収容数、採卵期その他の関係で、これを統一的管理方式まで発展させる段階には至っていない。従つて、現在のところ大筋の指示は可能でも、具体的な実際面では各事業場の創意・工夫による給餌管理が主体となつて行なわれている。こうした実態の中では事業場長に対する管理指導が必要であり、出来れば事業場間の相互研修が望ましい。

「飼育の計画」について「計画数量以上に収容している事業場では浮上率が低下しても補充がつくので、いづれも計画数量に達しているが、その他の場では浮上率の低下分だけが計画量を割つてゐる。しかし、飼育行程に入つた稚魚の歩留は当初に想定されたものより遙かに高く極めて好成績を得た。結果としては、本年度の計画尾数104,000尾に対し、103,644尾の給餌放流となり、計画に対し、99.66%の放流成績となつた。

「稚魚の成長について」伊茶仁、中川、八雲を除いて他は稍々低調に終つた。そのため全道平均増重倍率は0.68となつており、平均1尾当り0.25gの増加をみた。これは前年の倍率0.95に対し約27%の低下となつてゐる。本年稚魚の成長が低調であつたことの原因としては、餌料の水中分散が悪く前半期にロスが多かつたためと考えられる。これは後に餌を細片して吊り下げ又は置餌とした給餌方法により後半期成長の遅れを持ち直したが、平均的には好結果とはならなかつた。そのほかに餌の効率が天然餌料との混食もあつて比較的良い結果を生んでいるにも拘らず、一部を除いて充分な成長効果が見られなかつた要因としては、後述のように稍々餌の量が不足した傾向があつた。

「置餌式の給餌効果について」中川事業場では餌塊を自然解凍、水中に漬けないで室に放置したものを細片して受卵器に入れ、飼育池の底に沈置したところ、その摂餌状況は極めて著しいものがあり、餌が無くなるまで池の底が全く見えない程凝集し、2kgの餌が1時間半で捕食された。しかも池底への散失は殆どないことが観察され、この餌に対する捕食性及び嗜好性・食欲と言つた点では、むしろ餌が不足ではないかと思われると報告されている。こうした点では餌の性状とも関連して給餌方法の検討が必要であり、又、サケ稚魚の1日当り給餌量についても更に検討を要し、各場の飼育環境に応じた弾力性のある給餌を行なつてよいものと考えられる。

「餌の効率について」総体で27,190kgの増重に対して餌は45,000kgを投入しており、投与量の60%が魚体に吸収され増肉された。これは80%近く水分を含んでいる生餌としては効

果の良い方であるが、当場では河川水を利用しているところが多く、又飼育池内に敷きつめられている砂利に天然餌料の発生等、飼育用水中に多かれ少かれ天然餌料の存在が認められ、これらの混食があるためであろう。現在使用している生餌の効率がよいもう一つのかくれた原因として、毎年のことではあろうが浮上数の過大評価による場合が考えられる。即ち、浮上数や放流数が査定数より少い場合実際の1尾当り給餌量は多くなつてくるので、この分だけが天然餌料の混食の場合と同様に計算上の数値に入つてくることが想定されるからである。これらの要素を包含して本年と同様の条件で浮上時の倍の魚体で放流するには、今年の飼育対象総重量は38屯となるので餌の必要量としては約67屯と計算される。このうち60%が魚体増重として現われた時に放流総重量は浮上時重量の丁度倍となる。この点については今後検討を要するものである。(本年度途中で予算の節減があつたため餌量を減じたことも増重量の低下をもたらし、た一つの要因である)

§ 3 3 9 年 度 給 餌 放 流 結 果

1、放 流 成 績 表

場	支	場名	39年度計画		収容数		給飼実施尾数		放流数			飼育期間	区分	放流水路
			尾数	卵数	数	浮上尾数	%	尾数	計画に対する%	死	放流数			
北見	北見	湧別	5,000,000	10,215,500	8,600,000	84.2	6,090,000	121.8	380,000	5,710,000	93.7	2/11~4/30	2	常呂川
			14,000,000	18,456,200	16,700,000	90.5	13,951,000	99.5	71,000	13,880,000	99.5	2/27~4/17	8	湧別川
			190,000,000	286,717,000	253,000,000	88.2	20,021,000	105.3	451,700	19,569,300	97.4	2/11~4/30	10	伊茶仁川
根十	伊茶仁	釧路	200,000,000	253,335,000	201,600,000	86.3	197,554,000	98.7	31,300	197,241,000	99.4	3/30~6/21	4	伊茶仁川
			18,000,000	29,840,500	25,600,000	84.9	18,000,000	100.0	6,200	17,938,000	99.9	4/8~5/8	2	釧路川
			180,000,000	239,325,000	201,985,000	84.8	18,000,000	100.0	17,400	17,824,000	99.0	3/1~4/10	2	旧途別川→十勝川
天塩	札内	計	54,000,000	98,499,700	89,117,000	86.2	54,000,000	100.0	2,500	17,975,000	99.8	3/3~4/15	2	メム川→十勝川
			600,000	93,642,000	89,117,000	95.2	624,000	104.0	55,000	6,185,000	99.0	3/5~4/20	2	パンケナイ川→天塩川
			300,000	5,687,700	4,958,000	79.0	3,100,000	103.0	12,500	3,088,500	99.6	3/17~5/7	3	千才川→石狩川
千才	八雲		2,000,000	2,375,000	1,764,500	74.2	1,539,000	76.9	254,200	1,284,800	86.0	2/20~5/6	2	遊楽部川
			104,000,000	167,931,300	145,538,900	86.6	104,655,400	100.6	101,120	103,644,500	99.0	2/11~6/21		
合 計														

※ 主として標識放流のため、飼育地から稚魚を取揚げの際の減耗

成績年表

場 支	場 事	場 業	名	浮上魚体		給餌量	水 温		D O	水 量	飼育密度 (1m³当り)	増重量	放 流 魚 体		増重倍率	備 考			
				体長	体重		低	高					g	g			cm	g	
北 見	北 見	湧 別	見	cm	g	Kg	37~90	6.4	900~400	93.6m³	54,500	0.18	900	41	050	2850	0.56		
				355	0.32	1,950	2,400	67~95	8.6	0.23	3200	43	0.62	8,600	0.59				
根 室	伊 茶 仁	十 勝	路	349	0.34	6700	9000	3.6~122	9.6	0.30	6,100	44	0.65	12800	0.88				
				35	0.39	7020	8000	82~90	8.7	0.19	3,420	41	0.58	10,440	0.49				
天 塩	中 川	才	雲	32	0.42	7,500	8500	35~135	6.8	0.27	4,700	42	0.70	12200	0.64				
				38	0.43	7,700	7200	32~86	7.1	0.34	6,100	45	0.77	13,800	0.79				
千 才	八 雲	島	見	3.6	0.37	2,300	3500	57~63	6.0	0.33	2,000	45	0.70	4,300	0.86				
				34	0.33	900	1,000	30~69	4.9	12.0	1,100	61m³	3~40000	0.10	400	37		0.42	1,300
渡 島	八 雲	島	見	3.5	0.34	500	900	55~108	7.7	8.0	105.6	0.34	370	40	0.68	870	1.00		
合計及平均				3.5	0.37	39970	45000		6.97				0.25	27,190	42	06.2	67,160	0.68	

§ 各場の給餌業務概要及意見

〔北見事業場〕

- (1) 給餌は50%浮上した頃から開始し、餌の吊下間隔は4m²~6m²に1箇所とし、初期は馴化のため1日3回(朝・昼・夕)給餌した。
- (2) 本年の餌は水中拡散が悪く、餌塊を自然解凍したのちに細片して、これを給餌盆にもり上げ吊下した。
- (3) 飼育池は常呂川河口部で降海量の計測を行う関係上、排水口(放流口)は金網遮断した。
- (4) 稚魚の摂餌状況は最初の10日で約15%の増量を示し、良好な成績が得られるものと期待したが、給餌15日目頃より池の下流部で斃死がみられ、止むを得ず3月3日より開放飼育(降下水路と池の排水口を遮断しない)とした。
- (5) 斃死に対してはユベラフード及オーレオマイシンを餌に添加して与えた。
- (6) 増量倍率は低くなつたが、大きいものでは倍に達するものがあつた。

〔湧別事業場〕

- (1) 卵の収容は当初計画数が収容出来ず、十勝・根室から移殖した。
- (2) 餌は極細分して1日3回給餌した。摂餌状況は良好であつたが、餌の減配により前年より増重量成績は低下した。特に十勝の移殖卵による稚魚は大型であり、餌の減配は前年より約1屯であるが、内容的には魚体重当りの給餌量が前年の約50%の低下となっている。
- (3) 給餌後の斃死は1日1500尾程度であつた。
- (4) 気泡幕の効果は不充分と認められる。

〔伊茶仁事業場〕

- (1) 給餌は 膺 の う 吸収 8 ～ 9 割 の 時点 で 開始
- (2) 餌 は 解凍 後 細片 し、池 内 に 散布 し て 馴化 し、その 後 に 1 面 当 り 6 ケ 所 に 吊下 し 1 日 3 回 給餌 し た。
- (3) 池 と 隣接 す る 降下 水路 に 密集 す る 稚魚 に も 給餌 し た。
- (4) 本年 の 冬 は 豪雪 の た め 融雪 が 遅れ、低水温 が 長 曳 い た た め 摂餌 行 動 に ムラ が あ つ た。
- (5) 斃死 は 毎日 給餌 時 間 に 数取器 で 算定 し た。

〔釧路事業場〕

- (1) 給餌開始は膽のう吸収80~90%の時点

- (2) 餌は冷凍塊状のままでは吊下しても水中分散が悪く、水中にて解氷後細片して給餌盆にダンゴ状に盛上げ吊下したほか、散布法を併用、
- (3) 散布式給餌では、餌の沈下散失が多く約50%が無駄となつた。沈下した餌は1週間で水生菌が発生し、池がひどく汚れた。
- (4) 散布式の給餌は1日5回(9時、11時、13時、15時、17時)であるが、散失を防ぐには更に回数をふやさねばならない。(2時間毎に投餌して50%のロスがあるのでこのことから1時間毎に10回位投餌せねばならないだろう)
- (5) 散布式を行うのに5人で1回30分を要した。(調餌は別)
- (6) チョツパーはもつと大型で能率の良いものが必要である。
- (7) 賃金予算については1000万尾につき1名、即ち当场では2名であるが、吊下式給餌法で実施する場合は充分と思う。散布式の場合はかなりの賃金を要する。

【幕別・札内事業場】

- (1) 給餌は臍のう吸収80~90%の時点で開始
- (2) 初期には馴化のため、多少餌が無駄となつても充分与え、本格的な段階で1日2回の吊下式による給餌
- (3) 飼育池の外、降下水路に於ても給餌、河川給餌を併用、水面上にロープを張りこれに吊下、
- (4) 餌は解凍後細片したものを吊下
- (5) 日覆板は3m毎に40cm開いて行つた。
- (6) 水量は通常より若干多くした。
- (7) 飼育尾数の集約化は収容移殖時点で配慮した。
- (8) チョツパーはもつと大型の能率の良いものが必要

【中川事業場】

- (1) 給餌開始は臍のう吸収80~90%の時点
- (2) 餌は細片し受卵器に入れて池底え置餌とした。
- (3) 摂餌状況は極めて著しいものがあり驚異的であつた。これは餌の配合が良く嗜好性に合つたものであると同時に細片して置餌法にしたのが相乗的に効果を現わしたものと考える。
- (4) 摂餌状況が著しい割には増重がみられなかつたのは餌の不足と考えられる。
- (5) 気泡幕の効果については疑問がある。

- (6) タラ子は配合餌から分離して単一の方が効果的と考える。

【千才事業所】

- (1) 飼育稚魚は石狩水系産及十勝水系産のものであつた。
- (2) 石狩川産のものは浮上魚体が小さく、給餌して放流時に十勝川産の浮上時魚体と同じ位であつた。
- (3) この点では、強化放流の方法として給餌の外に大型稚魚の移殖も一つの課題となろう。
- (4) 給餌は臍のう75~80%吸収時点で開始
- (5) 餌は解凍細片したものを、最初は散布したが散失がひどく中止し、吊下式と置餌式を併用した。
- (6) 細片した餌の吊下式と置餌式では、稚魚密度の高い時は置餌式が効果的であつた。
- (7) 給餌回数は9時30分と13時30分の2回とした。
- (8) 弱小魚は摂餌群の中に入らず下流域で流れて来た餌を捕食する状態だつた。
- (9) 増重量が低調であつたのは、前半に散布式で行つたため餌の散失ロスが多かつたこと飼育水温が例年より低かつたこと、及後半に少々増重をもち直したが、前半の低調部分をも一括包含して計算したためである。しかし、非常に大きく成長しているのもあつた。
- (10) 稚魚の死亡率は僅少であつた。
- (11) 日覆板は全部除去して行つた。(前半散布式給餌の為)

【八雲事業所】

- (1) 稚魚は遊楽部川産と西別川産のものであつた。
- (2) 給餌開始は臍のう80~90%の時点
- (3) 餌は解凍細片して吊下式とした。
- (4) 浮上率が低かつたため尾数としては計画数に達しなかつたが、それに反比例して給餌量が多くなつたので増重量は目標に達した。
- (5) 一部無給餌で標識放流し河口で計数調査をした結果、給餌稚魚は無給餌よりも約1週間早く到達する。魚体は両者に優劣はないが、量的には給餌稚魚は放流数の50%、無給餌稚魚は86%がそれぞれ減耗していた。(この減耗は標識のためヒレ欠除という人工的奇型のために通常よりも大きい。標識した稚魚は完全稚魚よりも約20%の減耗較差が知られた。但し20mm未満河川内)

1 1、調 査 試 験

サケ、マス増殖事業を有効に推進するためには、発生成育の各段階における生活の実態を把握して、障害となる事象を除去すると共に、適切な援助を行なうことが必要である。

特にサケ、マスの繁殖様式が淡水域に亘り、産卵、発生と生育の場の環境が著しく異なることは、この資源の維持に極めて重要な意味をもっている。

昭和39年においては、河川内で発生した稚魚群の生態、各種環境に対する影響、親魚の産卵生態生理の究明に重点をおいて調査を進めた。

その概要は次の各項に示す通りであるが、現在なお整理中のものを含めて、更に検討を加え、後日とりまとめ報告する予定である。

(1) マスの天然繁殖に関する調査

- 1) 北海道の沿岸に回遊するサクラマスの分布区域は、殆んどその周辺全域に亘り、また沂上産卵する河川も略同様の傾向を示している。
- 2) サクラマスの沿岸回遊は前年の11月に始まり、7月～8月或は遅い年では9月にも1部その姿が認められ、河川沂上期は3月より7月迄の間に最も多く、事業実施河川の親魚の捕獲は全沂上数の30%以下と推定される。
- 3) 河川に沂上したサクラマスは前報で述べたように中流の深部に3～5ヶ月も滞在し、産卵期が近づくと従って次第に上流に移動し、比較的浅い急流の河底を掘つて産卵被覆する。
- 4) この種類の特徴として、一般に少々流速の急な流れの肩の部分で産卵するが、少々多くのは支流細流に沂上して、少々大きな岩の間の小区域でも産卵する。
- 5) 卵床の掘起し調査によつて採集される卵数は、比較的小数で、582～1855粒を示し、その孕卵数2216～4188粒に比し少々少く、サケと比較してその生存数はかなり少ない。
- 6) これらの卵床から発生した稚魚群は、上下流のやや広い水域に拡がり食欲極めて旺盛で、10月初旬迄に雄の1部に成熟魚が認められるが、大部分のものは未熟で、生殖素は肉眼で雌雄の判別可能な迄に发育している。
- 7) 1964年9月及び10月に島牧郡千走川及び雄武町幌内川で採集した、幼魚及び成魚群の年令ならびに体長分布は次の如き傾向を示している。

千走川 採集総数 53尾(主として釣により採集)

年 令	年令組成	体長範囲 (F・L)	雌 雄 比	成 熟 魚
1年目	79.2%	85～144 ^{mm}	50%♀:50%♂	11.6%(♂の23.8%)
2年目	17.0%	147～199	0 : 100%♂	10.0%
3年目	8.3%	251～269	0 : 100%♂	10.0%

幌内川 採集総数 24尾(主として釣により採集)

年 令	年令組成	体長範囲 (F・L)	雌 雄 比	成 熟 魚
1年目	87.5%	10.7 ^{cm} ～14.0 ^{cm}	47.6%♀:52.4%♂	28.6%(♂の54.5%)
2年目	4.2%	14.9 ^{cm}	0 : 100%♂	10.0%
3年目	8.3%	23.8 ^{cm} ～24.9 ^{cm}	0 : 100%♂	10.0%

1年目の魚体の中には、千走川で♂の23.8%、幌内川では♂の54.5%に成熟魚が認められ、これらの魚体は成長の速い群の中にはむしろ少く、1年目の魚体のうちで最も数の多い体長11cm (F・L)の魚体の中に成熟魚が多いことは、成長速度のみではないことが推察される。

(2) 親魚生態調査

昭和38年度、39年度と引続いて、沂上親魚の有効利用、蓄養技術の改善を目的として、千才川・十勝川両水系の沂上親魚、蓄養魚、蓄養池の管理について、生理学的・組織学的に調査した。39年度の結果については試料が多く、現在処理中のものもあるが、現在迄に次の様な知見を得たのでその概要について述べる。

I 成熟に伴う生理的な変化

河川に沂入した親魚が沂上及び蓄養という経過の中で、いかなる生理的变化を示すかを調査し、その生理並に生態に合致した蓄養条件、管理方法を明らかにするために次の事項について調査した。

十勝川河口附近の定置網(大津)、河口から約3km種牛、中流部東33号、千代田の各捕獲魚について、血液、体成分・卵巣成熟度・肝臓組織を比較検討した。

1) 血液学的調査

各定点並びに千才川・石狩河口蓄養魚について、血清蛋白量・血清蛋白組成・血球数・血色素量・血球容積等について調査したが各成分とし個体差が著しく、血清蛋白量及び現在検討中の蛋白組成を除いた各要素及びそれから計算した各指数は、場所及び時期による著しい傾向的な差異は認めがたい。蛋白組成は現在定量中であるが、蛋白量についてみると第1、2図に示す傾向が認められた。

即ち9月16日の試料では♀♂共河川に入ってから一旦上昇し、次第に下降線をたどる。♀♂についてみると♀♂も高い。また10月10日の試料では第2図の如く、♂は次

第に下降を示し、♀は千代田で一旦上昇して居る。これは9月と10月の時期の差及び河川状況によつて沂上生態が変ることの影響及び千代田の特殊条件も加わるためとも考えられるが、時期によつて一旦上昇する時点が変化することも考えられる。

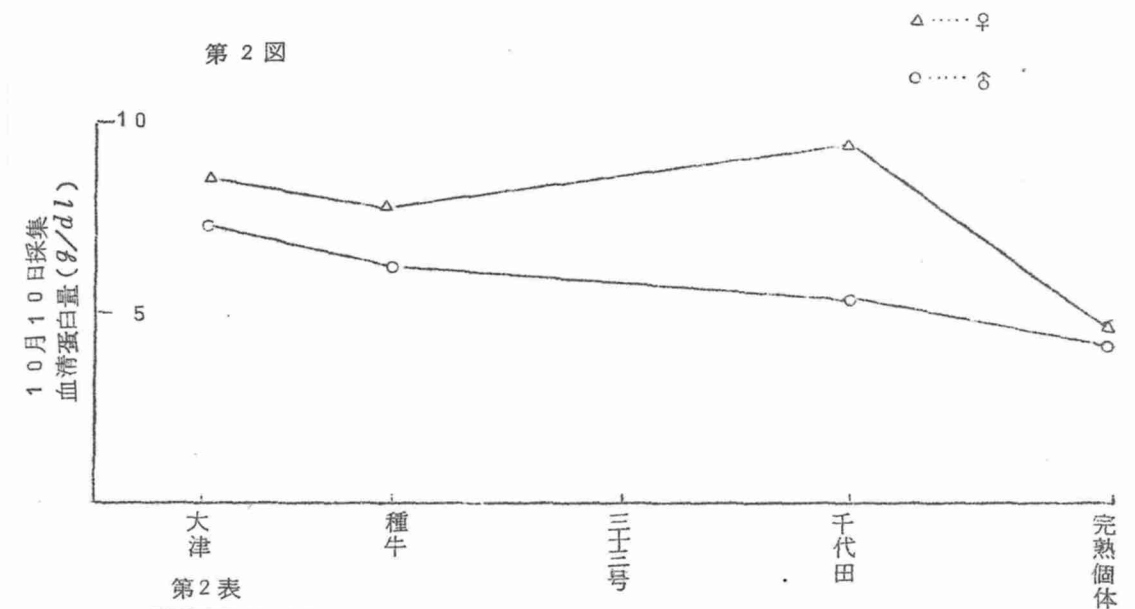
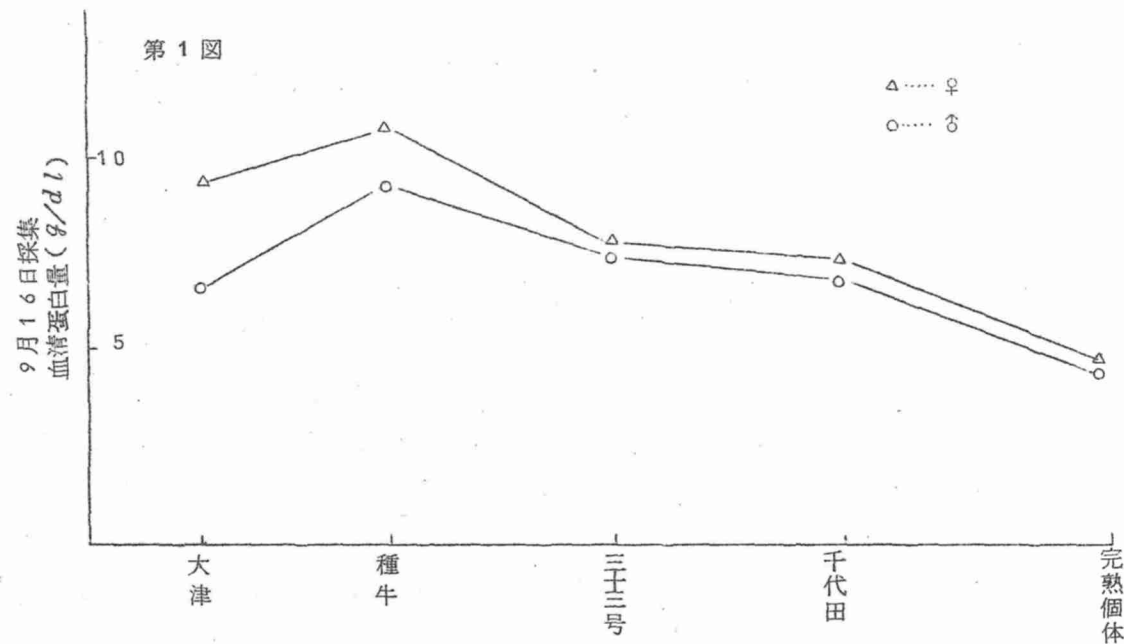
捕獲と同時に採卵出来る千才の成熟魚、石狩及び千代田の蓄養による成熟魚について比較すると(第1表)

		♀	♂
千代田	39年	4.6 $\frac{g}{dl}$	4.3 $\frac{g}{dl}$
	38年	3.63 $\frac{g}{dl}$	3.91 $\frac{g}{dl}$
石狩	39年	4.5	3.5
千才	38年	3.7	4.7

39年の千代田と石狩では♀が♂より高く、38年の千代田と千才では♀が♂より低くなる。第1、第2図及び第2表から、成熟時には♀♂共蛋白含有量は低下し、4 $\frac{g}{dl}$ 附近域は以下になり、♂の方が♀より多くなる場合もある。

時期的な変化では♂の方は♀に比し変化が少い。

千代田蓄養魚について、血球数・ヘマトクリット値・血色素量を見ると、第2表の様にヘマトクリット値を除き時期的に下降する傾向にあるが、これ等の要素は呼吸と密接な関係にあり、採取時の蓄養条件と照合して検討中である。



第2表

	血 球 数	ヘマトクリット値	血 色 素 量
10月 1日	154	42.2	73.3
10月 10日	128	39.2	72.0
10月 17日	116	40.5	68.1
10月 27日	115	47.7	62.6

血清カルシウム

血清中のCa量を十勝川各定点の試料について調査した結果(第3図)大津では♀と♂に差があり♀が♂の約倍量を示す。

沿岸ではかなり多く河川に入ると同程度の比率のまゝ一旦上昇したのち、次第に下降する。♀の下降の度合は急に著しくなつて比率がくずれ、成熟の直前になると、♀♂の差が殆んど無くなる。このことから血清Caの簡易定量法があれば成熟度の判定の可能性が考えられる。

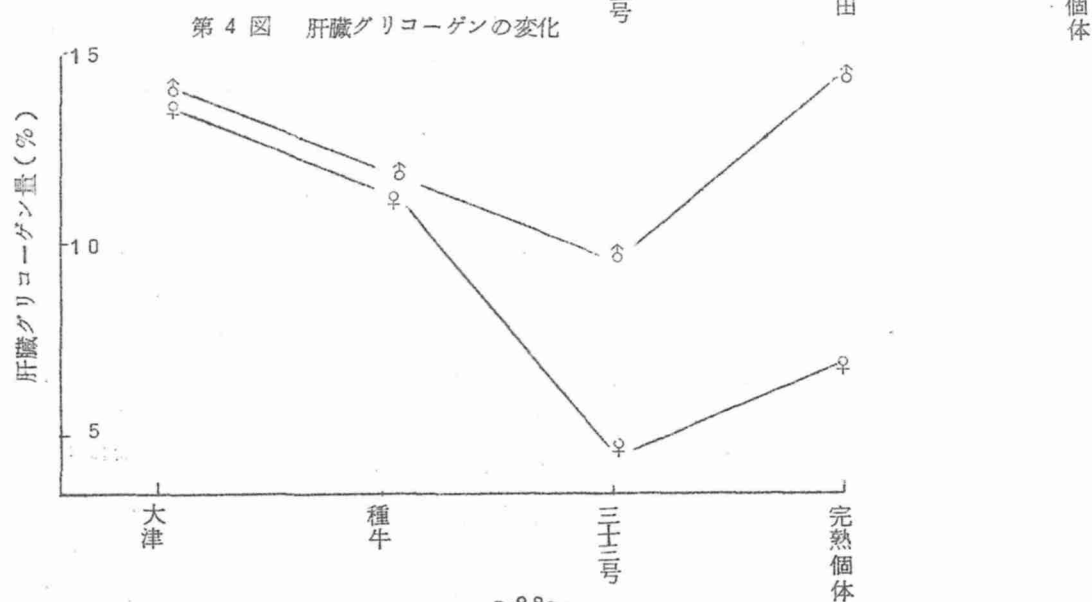
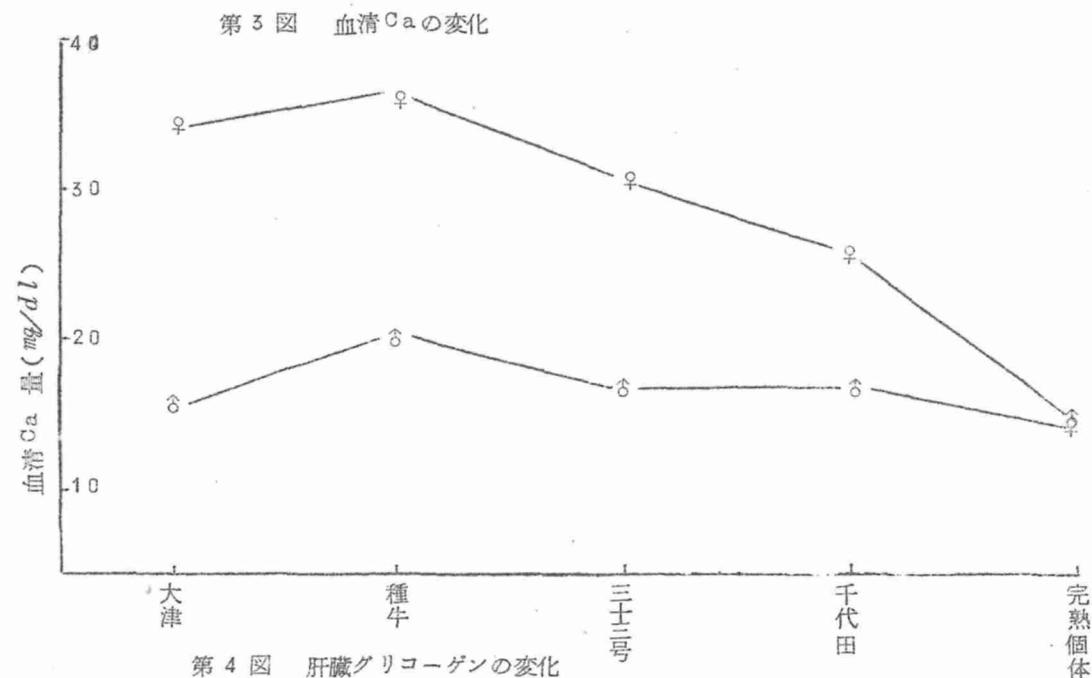
2) 体成分の変化

血液学的試験の標本の一部につき、水分・脂肪・蛋白質・肝臓グリコーゲンの分析を行なつた。

a) 肝臓グリコーゲン

結果は第4図に示したが、大津の定置網の捕獲魚では♀♂の差は無いが、沂上に伴って♀♂共に減少する。♀の減少は著しく♂の約1/2になる。

千代田に到着するところ又は養魚では同じ比率のまゝ再び上昇することから、この時期にエネルギー代謝に著しい変化が起ることが考えられるが、成熟に伴う変化であるか環境条件の特殊性に起因するものであるかは目下検討中である。



b) 体成分

1) 水分 (第5、6、7図)

大津の定置捕獲魚の魚肉水分含量は、時期に関係なく、♀が♂より僅かに多い。

また定置でも後期に来遊するものがいくらか多い傾向が認められた。

水分含量は沂上に伴い増加し、東33号附近で最も顕著である。

水分含量の時期的変化は(第6図)千代田で特に著しく認められた。しかもこの場合特異な現象として、後期に捕獲された♀で♂に比べて水分含量の少ないものが認められた。

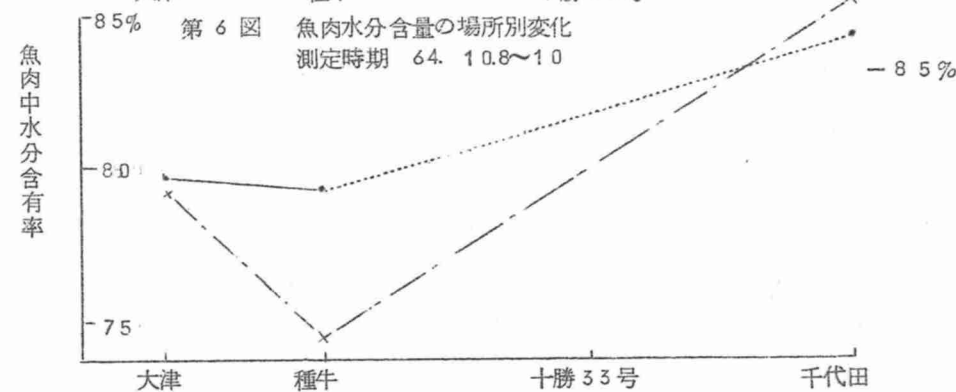
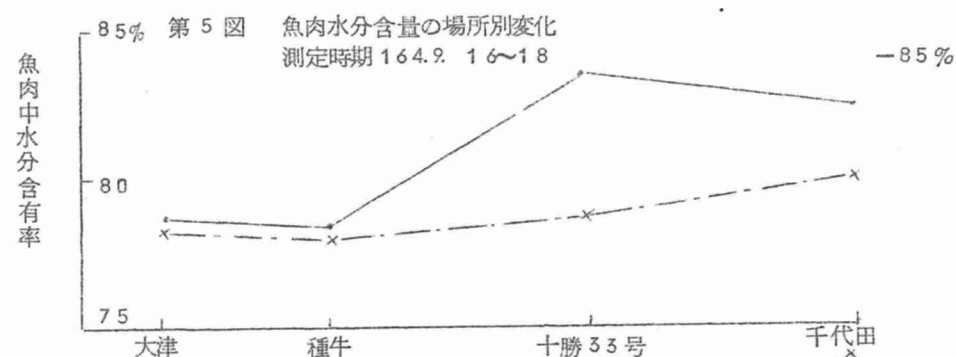
総体的に見れば沂上時に♀が♂より幾分多く、完熟前のある時期までに急激に水分が増加し、又♀の方が顕著である。然し完熟期になると♂の水分が急激に多くなり、♀の水分を超える結果になる。産卵後の雄では91.5%に達するものがあつた。

2) 脂 肪

脂肪分は他の資料と比較すると沂上初期から少い傾向にあり、沂上に伴って次第に減少するものの様であるが、現在分析結果について検討中である。

3) 蛋 白 質

試料分析中



第7図 千代田採卵場における魚肉水分含量の時期的変化

魚肉中水分含有率

85%

80%

● 雌魚
× 雄魚
○ 蓄養魚
△ " A
□ " B
⊗ 天然産卵後の雄魚
● 蓄養中に斃死した魚 A
▲ B
■ C

Spe 18 1.0 ot 1 8 9 ot ot 12 14 15 17 18 20

体成分分析試料の一部について、卵巣及び肝臓組織について組織学的に検討した。卵の組織切片の検討の結果全部胚胞移動期であるがこれによると沿岸、河川沂上中、蕃養初期の親魚の卵ではすでに核の移動が始まっているが大きな変化は無く、期間的に見ると成熟直前の短期間に著しい変化を示すものと考えられる。これ等標本の外観的な判断と対比すると第2次性徴が進んでいても卵の核移動が遅れているものがあり、体色のみで成熟度を判断することは危険性が有ることが判つた。肝臓の組織については現在作業中である。

千代田の蓄養池及び東 3 3 号円形ビニール蓄養池に於て、上記試験と併行して蓄養状況の観察を行つた。現在尙検討中であるが一部取纏めを終つた斃死魚の観察結果について概要を述べる。斃死原因については漁獲から収容までの取扱ひによる斃死、蓄養条件の悪化による斃死、生理的原因による斃死疾病等による斃死等が考えられる。

- ① 本年の結果では明らかに疾病によるものは見られなかった。
- ② 蓄養条件の悪化によるものとしては、蓄養尾数が著しく増加するとある限度からは急激に死亡率が起るが、本年の場合は蓄養尾数に対して比例的に増加する傾向はあつたが、特に著しいものではなかった。
- ③ 漁獲から収容までの取扱いに起因すると考えられる斃死魚は、取扱い尾数100尾に対して5尾前後と考えられる。
- ④ 10月10日以降の斃死の絶対量は非常に多く、それについて調査した結果斃死魚の80%強が完熟していた。以上のことから39年度の千代田蓄養池では、80%位が完熟に伴う生理的原因による斃死ということが考えられる。しかし現在の蓄養池の条件では♀の蓄養魚が成熟した時点に合せて採卵を行うことにはかなり困難な問題があり、自然な産卵が不可能な場合成

このことに関して、その分解・降下現象は摂餌活動と密接な関係があるのではないかとこの観点から無給餌、部分給餌、飽食給餌の3段階の実験を行なった。その結果、稚魚は飽食時（体重に対し6～7%の摂餌量）には、その降下活動は極めて不活発であることが知られた。また今回の実験の範囲内では摂餌が充分満されない場合（摂餌量1～2%）、或は臭い等に

よる摂餌刺激が与えられた場合は活発に降下活動を行なう傾向が明らかに観察された。したがって一時に大量の稚魚を放流する時、また雪融の増水期(濁度の高まり)に見られる急速な降海移動は、この様な要因に大きく左右される可能性が容易に推察される。

2) 勇払川サケ稚魚の生態調査

勇払川におけるサケ稚魚の生態並びに降下量推定のため、前年度に引続き勇払川水系(勇払川、ウトナイ沼、美々川)において、3月下旬より6月中旬まで分布調査、トラップ流入調査その他の気象観測を行なった。

39年3月17日、千才支場より稚魚約50000尾(10000尾標識)を旧勇払事業場に収容し、3月24日放流した。それから放流された稚魚のうち最も降下の速いものは、放流点より約20km下流の美々川河口に翌25日、勇払捕獲場には3月28日にその出現が見られた。又、降下の遅いものは、美々川河口において5月28日、勇払川では6月15日まで滞留することが観察された。トラップ調査によれば、稚魚の降下は美々川河口において3月下旬～4月上旬、勇払捕獲場では4月上旬～中旬に多く観察され、一般に上流域においては短期間に多数降下し、下流域程長期間に亘って平均した降下が見られた。

成長については、放流時に平均体重0.2gの稚魚は、4月中旬頃まで顕著な成長は示さないが、4月下旬より急速になり1ヶ月で約3倍(0.6g)、2ヶ月では6～7倍(1.1～1.4g)の値を示すことが知られた。なお同時期のものを地域別にみると、上流域と下流域のものが若干体重が大きく示された。このことは何に起因するか明らかでないが、餌料量と考え合せ興味深い問題である。

次は降下量の推定については、流速・索餌行動・気象条件とその関連があり、補足すべき点があるので次の機会に報告する予定である。

3) 網走川、サケ稚魚生態調査

サケの再生産が比較的安定した傾向を示し、且つ湖沼を有する河川における稚魚の生態を明らかにするため、網走川を選びその降海移動状況・成長食性について調査した。現在までの結果は次の通りである。

a) 稚魚の移動分布状況

38年2月22日～3月7日の間に十勝川より移植した稚魚210980尾網走川産稚魚1367900尾を放流した。そして夫々の放流群には標識を付けて放流した。(十勝川産：脂鰭、左腹鰭—300300尾、網走川産：脂鰭、両腹鰭—302200尾)、放流稚魚は結水下にも拘らず放流後1ヶ月内外で呼人湾を中心に湖岸全域に分布したことが氷下漁業によつて知られた。又降海移動はトラップ調査の範囲では4月下旬～5月上旬に最も盛

であることが示されたが、河岸の分布は5月中～下旬に濃い現象が観察され、トラップの効率の検討が望まれる。放流時期の遅速の影響は、その降海移動状況にも明らかに示された。稚魚の湖内滞留期間は湖水温18～19℃となる6月下旬～7月上旬までであることが示された。降海移動時の日週期活動は、干満潮の影響を受けるため、一般河川と異り顕著に現れない。しかし増水時の濁りのある場合以外は夜間多く移動し、晝間は少い。湖内では日中水温の上昇時に沿岸部に群遊し、夜間深みに移動分散する傾向が魚群探知機で明らかにされた。

b) 成長

降海移動の稚魚の成長度は、水温の低い5月上旬まで(水温10～8℃)大きくないが、5月中旬以降水温の上昇に伴つて(水温20～18℃)極めて急速に成長する。即ち放流時平均フオークレンジス35.8～32.8mmのものが5月下旬には45.1mm、6月中旬56.2mm又平均体重は放流時0.25～0.38gのものが5月下旬には0.94g、6月中旬には1.71gに成長した。

湖内の成長は地域によつて明らかな成長差が認められ、女満別湖が最も成長がよく、次いで本湖、そして呼人湾内の順となり、呼人湾内が最も小さい成長度を示した。このことは環境条件を深く反映しているものと考えられる。

c) 摂餌量

降海移動時の稚魚の摂餌量は5月中旬頃まで少いが、5月中旬以降は湖の摂餌生産力とあいまつて極めて大量の摂餌率(体重に対して3～5%)を示す。又湖内における摂餌量も地域的に差が認められた。即ち女満別湖が最も高い摂餌量を示し、呼人湾内・旧呼人組合前・湖口一帯は低い。旧呼人組合前附近の摂餌量の低い値は、稚魚の分布密度の高いことが大きく反映しているものと考えられる。

(4) 勇払川環境調査

1) サケ稚魚降下移動期間中の勇払川環境調査の一環として、1963年度に全河川に亘る調査で生息魚種18種が得られた。1964年4月20日から採集地点を2ヶ所(勇払捕獲場及び美々仮観測所)にしほり、サケ稚魚と同時にトラップに混入する稚魚を採取して分析を行なった。その他にエビドウをも併用した。分析に当りコイ・フナ・トゲウオ類・ワカサギは草食性及びプランクトンフィダーであるのでのぞいた。その結果265尾のハゼ類を主に胃内容物中サケ稚魚を捕食せる個体表を示すと表の如くなる。ハゼ類中サケ稚魚を捕食せるものはウキゴリだけで、他のチチブ・ビリンゴでは1尾も捕食していなかつた。又ウキゴリ個体の最大捕食尾数は7尾であつた。胃の内容物として他にガンマルス(ヨコノミ)、スデエビ等も多く捕食しているところから、サケ稚魚だけを好んで食するような選択性は認め

られず、遊泳力も活動性が強いものとは考えられないのでタイミング等によつて捕食する程度でなかろうかと思う。調査したウグイ類にもサケ稚魚が見出されなかつた。

魚 種	採 取	場 所	採 取 期 間
	勇 払 捕 穫 場	美々川観測所	
ウ キ ゴ リ	2.5 %	%	4 月 2 0 日
"		1.3	4.2 1 - 3 0
"		0.9	5 1 - 1 0
"	5.3		5. 3
"	2.2	1.2 5	5. 1 1 - 2 0
"		0	5. 2 1 - 3 1
"		0	6. 1 - 1 0

2) 結氷下3月は全般的に酸素は幾分飽和より低い。PHは微酸性である。解氷後は美々川では飽和度は場所によつては80%と低下し、PHは幾分低くなり6.6-6.8を示すが、ウトナイトーでは植物の発達(ヨシを主とした挺水植物群落、*Synedra*, *Asterionella*を主として植物プランクトン)によつて酸素は幾分過飽和状態となり(110%程度)PHも幾分高まり(7.4-7.2)、しかし動物プランクトン発生量は全般的に貧弱で橈脚類、枝角類が微量出現した程度である。底棲動物は美々川ではユスリカ幼虫、カゲロウ幼虫、ガンマルスが多く勇払川ではユスリカ幼虫、糸みみずが多いが、ウトナイトーは全般的に貧弱である。従つてウトナイトーは、サケ稚魚生育水域としては網走湖の様に好適な条件ではないが、これは水深が浅いこと、平地にあり風の影響を受けやすく、風がふくとすぐにごること、涵養水が腐植質に富んだ水であること等があげられる。したがつてサケ稚魚の生育には蛇行し挺水植物群落の発達している美々川が重要であることが推定される。

(5) 漁獲物組成調査(魚体測定調査)

この調査はサケ、マスの生態並びに資源動態を知るための基礎資料を得るため長年継続して行なつている39年度においても前年度同様、サケについては16河川、19ヶ所、カラフトマスについては4河川において資料を蒐集した。それら資料について整理中であるが現在までに知り得たサケの年令組成は下表の通りである。

39年度サケの年令組成

河 川 名	年 令 (%)				
	2	3	4	5	6
石 狩 川	1.8	68.8	7.8	21.6	
天 塩 川		22.5	70.3	7.2	
湧 別 川		64.5	30.6	4.9	
常 呂 川		50.5	48.1	1.4	
網 走 川	0.7	40.1	47.8	1.4	
薫 別 川		34.6	31.7	33.7	
十 勝 川		43.6	33.2	23.2	
静 内 川	1.9	64.6	22.1	11.0	0.4
遊 楽 部 川	0.8	41.4	26.1	23.7	
茂 辺 地 川	13.6	57.6	28.8		
亀 川	4.5	41.0	52.6	1.9	
知 内 川	1.5	49.0	47.7	2.1	

年令査定表に見られる通り、39年度は例年に比して非常に3年魚の出現が多く、特に十勝川水系においては数量的に顕著にその傾向が見られた。なお未発表の他の河川については早急に整理の上報告する予定である。

(6) 標識魚の再捕

本年度は35年度十勝川放流(788,000尾)の5年魚、37年度勇払川放流(324,845尾)の3年魚、38年度網走川放流(602,500尾)の2年魚等の回帰年にあたるので、全道的にその再捕体制を固め、河川内並びに沿岸の再捕につとめた。特に勇払川放流の回帰魚を対照として勇払川水系、日高沿岸を重点的に行なつた。39年度の再捕結果を示すと下表の通りである。

第1表 十勝川関係(37年度・38年度のものについても併記した。)

標 部 位	38年度 3年魚 として	39年度 4年魚 として	39年度 (5年魚として)					総 計
			十勝川	襟裳以 東海区	襟裳以 西海区	北 洋	合 計	
脂 鰭 両腹鰭	29	341	19	8		2	29	399
脂 鰭 右腹鰭	14	67	14				14	95
脂 鰭 左腹鰭	9	25	2				2	36
脂 鰭	41	112	26	3			29	182
両腹鰭	2	6	2	5			7	15
右腹鰭	10	15						25
左腹鰭	6	8			1		1	15
計	111	574	63	16	1	2	82	767

第2表 勇払川関係

標 部 位	38年度 2年魚 として	39年度 (3年魚として)					総 計
		勇払川	襟裳以 東海区	襟裳以 西海区	北 洋	合 計	
脂 鰭 両腹鰭	11	97	2	86	5	190	201
脂 鰭 右腹鰭		9				9	9
脂 鰭 左腹鰭		6	1	2		9	9
脂 鰭		88	1	36		125	125
両腹鰭		20	1	6		27	27
右腹鰭		7		2		9	9
左腹鰭		4				4	4
	11	231	5	132	5	373	384

なお、網走川放流(2年魚として)の回帰魚は1尾も再捕がなかった。

(7) さけ・ます交配種作成放流試験

さけとからふとます雌雄による交配成魚が表現する諸形質は正常な親魚の形質をどのような傾向に遺伝してくるかを確かめるため、1963年度サケ(♂)×カラフトマス(♀)77.598尾、サケ(♀)×カラフトマス(♂)35.699尾の飼育中稚魚に、前者は脂びれと両腹びれ、後者は脂びれと右腹びれを切断標識して1964年3月下旬～4月上旬の間にオサ川合流点に放流した。

1964年度カラフトマス系上群が極度に少なく、特に雌の数が少なかったため、やむなく、サケ(♀)×カラフトマス(♂)27,000粒を採卵精現在飼育中である。この孵化率は悪く35.6%で

あつた。

次に成魚として幌内川にもどつて来た稚魚第1代は120尾で、再捕された期間は昨年と略同様(8月中旬～9月下旬)であつた。その他再捕された場所は幌内川口を中心とする約20Km間の沿岸定置漁場で42尾が報告されているので、計162尾に達する。幌内川で採取した数尾標本魚の形態及び年令組成等について現在調査中である。

(8) さけ・ます類の形態学的調査

さけ属各種にそれぞれの外部形質特徴をもっている。そこで同一種内における種族を識別する形体形質を見出して北海道諸河川相互間および同一水系の、漁期間の魚群構成を究明するため、先づ採卵、採精後の魚体から内臓を取出し、その幽門垂の雌雄による平均を計測した。

下表の如く雌雄による変異は殆んどなく、河川別では西別川が最も小さく、天塩川が最も大きい値を示している。なお同一河川による変異については現在調査中である。

	♂	♀
1 4 線 捕獲場	152	141
中 川 捕獲場	159	158
千 代 田 採卵場	149	148
網 走 事業場	154	150
西 越 採卵場	150	152

(9) 支笏湖ヒメマスの調査

1) 本年のヒメマス漁獲数量は一般にやや不漁で、試験あみ漁獲(千才市)の結果は、約57,000尾で、漁期が1ヶ月早くなっているにもかかわらず前年7～8月の漁獲尾数を約5,000尾上回っているにすぎない。特に漁獲が8月に低下していることは本年の漁獲対象資源が比較的少ないことを物語っている。次に釣獲尾数であるが一般に不漁で、釣獲にむらがあり局所的に比較的豊漁でもすぐ不漁になると言う状態をくりかえし、費用の関係で釣獲票による調査は実施しなかつたが釣獲尾数は20～30万尾程度と推定される。しかし産卵親魚としては約13,000尾が採捕されているが、これは密漁防止の効果であると考えられる。なお魚探による調査では7月は極めて魚が分散し影響も粗であつたが、9月末の調査では局所的に比較的濃い場所が沿岸近くで認められた。

2) 漁獲魚の年令組成

1～3月の試験あみによる♀:145尾、♂:148尾の測定結果では、♀は47%が4年、53%が5年、♂では4年が67%、5年が33%、6～8月の測定では♀:500

尾の中、4年が32%、5年が68%、♂650尾のうち4年が48%、5年が52%である。次に産卵魚群では、♀：400尾、♂：118尾のうち、♀は4年が19%、5年が81%、♂では4年が42%、5年が58%と全般に5年魚が多かった。即ち本年の漁獲魚の主群は5年である。

3) 産卵親魚群の回遊調査

産卵魚群の回遊状況を観察するため9月末～10月上旬に湖畔で採集の成魚、289匹を罾の切断をして産卵期の採捕を見たがこの中30尾(内1尾ボロビナイ)：約10%を再捕した。またふ化場前曳あみで採集の親魚(10月22日)599匹に標識を付けて湖心とボロビナイ湖畔中間点で放流した結果では湖畔曳あみで124尾(湖畔～ボロビナイ中間点)及び105尾(湖心)が再捕された。以上の結果から9月下旬～10月初旬に湖畔附近回遊の産卵魚群のうちふ化場前の曳あみで採捕されるのは約10%であること及びシリセツナイ川口に回遊の群は他所で放流しても再びシリセツナイ川口に帰つて来ることがわかった。

次にボロビナイ及びニナルの沿岸で採集の親魚とふ化場前曳あみ採集の親魚の熟度を比較してみると、湖沿岸部で採集の親魚の大部分が完熟の状態で、このことからシリセツナイ川口に集まる魚群は熟度の遅い魚群であることが判明した。

4) ギンケ流下状況

本年のギンケの流下状況は放防止あみ設置前に2～300尾程度流下したが、設置後7月1日～11日にかけ3年魚が11尾採捕したに止まつており、春のDaphniaの出現状況が良好な年は流下現象はあまり起らないと言う推定を裏書している。

5) 稚魚の標識放流試験

6月10日まで千才支場で飼育した稚魚10万尾に両腹鰭を切断してシリセツナイ川口に放流した。

6) 環境条件調査

餌料プランクトンの出現状況

本年のプランクトン状況は一般に良好な状態で特にAcanthodiaptomus(櫛脚類)は多く出現していた。

植物プランクトンの発生も平年程度である。

7) 他湖沼のヒメマスについて

本年行なつたクツタラ湖の春の定置あみの漁獲状況では2～6年魚が漁獲され、特に2年魚の出現が多かった。前年餌料条件が極めて良好であつたことから支笏湖と同様餌料生物の発生が良好である年の稚魚の生き残りが極めて良好であることはクツタラ湖でも同様である

ことを知つた。

8) 千才鉾山排水の支笏湖に及ぼす影響

支笏湖の西岸には千才鉾山と呼ぶ金山があつて、この鉾山の排水が美笛川を経て湖に流入する。そのため湖水と美笛川の重金属含量が調べられた。

その結果は下表の如くで銅、亜鉛、鉛とも生息水族に悪影響のある含量でない。美笛川は排水が直接流入するので湖水より多いが、湖への蓄積量を増加するほどでないと思われる。

支笏湖の重金属含量(単位：ガンマー)

	採水年月日	銅	亜鉛	鉛
支笏湖表面	1963年10月23日	1.1	2.9	0.5
" 200m	"	0.5	3.4	0.5
" 350m	"	1.4	5.3	0.5
支笏湖ふ化場用水	1963年10月22日	0.4	1.0	0.5
美笛川	"	8.8	3.4	1.1

注：1ガンマーは $\frac{1}{1000}$ ミリグラム

12. 資料の刊行

標 題	番 号	発 行 月 日
ふ化場研究報告	18号	昭和39年12月
魚 と 卵	106号～111号	昭和39・5月～40年3月
北海道主要河川 に溯上とする サケ親魚の年令	資 料	
組成並びに体長 体重組成	111	昭和39年3月
(1961年1962年)		